

配付資料一覧表

第2回木曽三川ふれあいセミナー 式次第

第2回木曽三川ふれあいセミナーの進め方のルール

資料－1 「長良川の樹木伐開について」

資料－2 「木曽川水系連絡導水路事業について」

資料－3 「木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧」

ご意見用紙

第 2 回 木曾三川ふれあいセミナー

式 次 第

日時 平成 20 年 6 月 29 日 9:30～16:30

場所 現地調査：境川河川浄化施設付近の樹木伐開予定箇所

意見交換：岐阜市民会館大集会室

1. 開 会

2. セミナー

第 1 部 長良川の樹木伐開

1) 現地調査

2) 意見交換

第 2 部 木曾川水系連絡導水路事業

1) 意見交換

3. 閉 会

第2回木曾三川ふれあいセミナーの進め方のルール

より多くの参加者の皆様からご意見を伺うため、スムーズな進行にご協力をお願いします。

- ご意見のある方は挙手をして頂き、指名されてからご発言願います。
- より多くの参加者の皆様に発言して頂くため、ご意見は簡潔にまとめて3分以内でご発言願います。
- 特定個人に対する誹謗・中傷はしないようにお願いします。
- 他の参加者のご意見への批判、賛否の表明、拍手などはご遠慮願います。
- セミナー中の立ち歩きや会場への出入りは極力ご遠慮願います。
- 携帯電話は、電源をお切り頂くかマナーモードにして頂くようお願いします。
- 個人的な写真等の撮影や録音はご遠慮願います。
- その他、進行の妨げとなるようなことはご遠慮願います。

これらのことにご協力頂けない場合には、ご発言を中断又はご遠慮して頂いたり、場合によってはご退席して頂くことがありますので宜しくお願いします。

長良川の樹木伐開について

平成２０年６月２９日
国土交通省中部地方整備局

木曽川上流 樹木伐開について

❖ 目的

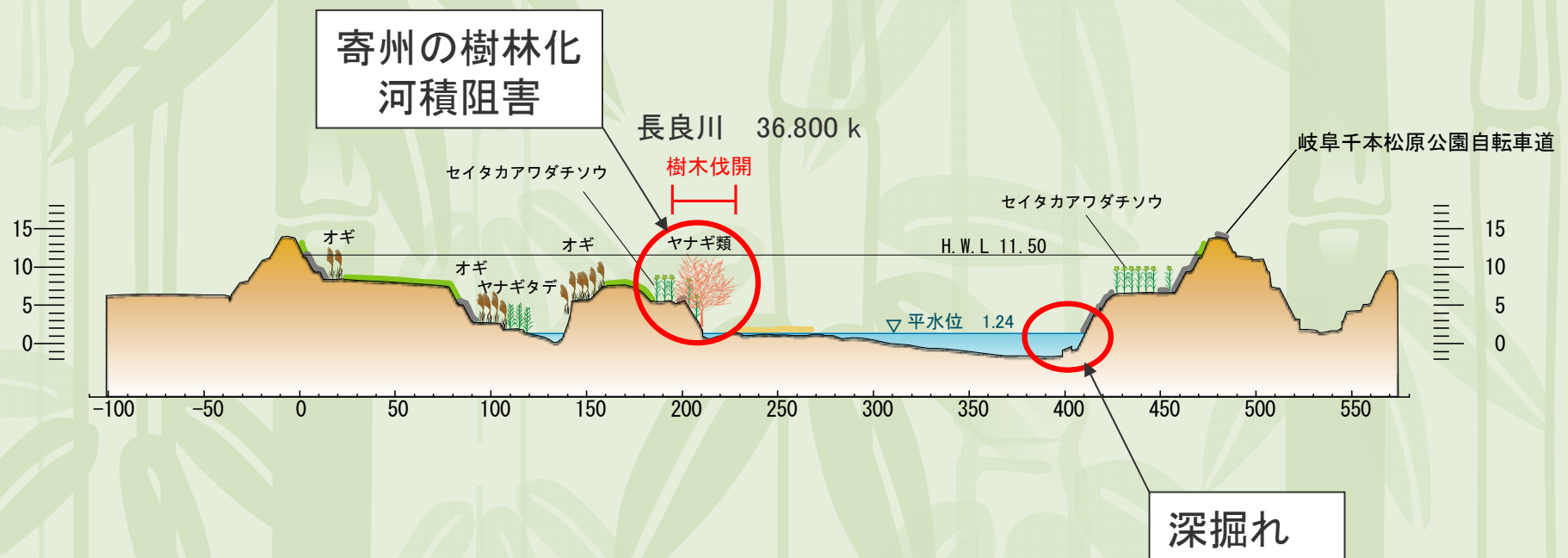
- 1) 治水機能(流下能力向上、水位の低下)
 - 2) 河川管理施設の局所洗掘、浸食防止
 - 3) 河川管理施設の損傷防止
 - 4) 支川排水障害の防止
 - 5) 河川監視(河川巡視、CCTV)
 - 6) 不法投棄対策、防犯対策
- 等

長良川の課題

1. 河道整備流量を安全に流下させる河道断面積が確保されていない。
2. 寄州の樹林化により、対岸の護岸前面が深掘れし、または、将来進行する恐れがある。
3. 堤防や河川管理施設等の周辺に生育している樹木は、治水等の機能に影響を与える。
4. 河道内樹木の繁茂により、河川管理のための河川巡視やCCTV等の監視施設の視界を妨げている。
5. 堤防際に樹木が繁茂し、ゴミ等の不法投棄や防犯上の観点などより地域住民から樹木伐開の要望が出ている。

長良川の課題①

1. 河道整備流量を計画高水位下で安全に流下させるために必要な河道断面積が確保されていない。
2. 寄州の樹林化により、対岸の護岸前面が深掘れし、または、将来進行する恐れがある。



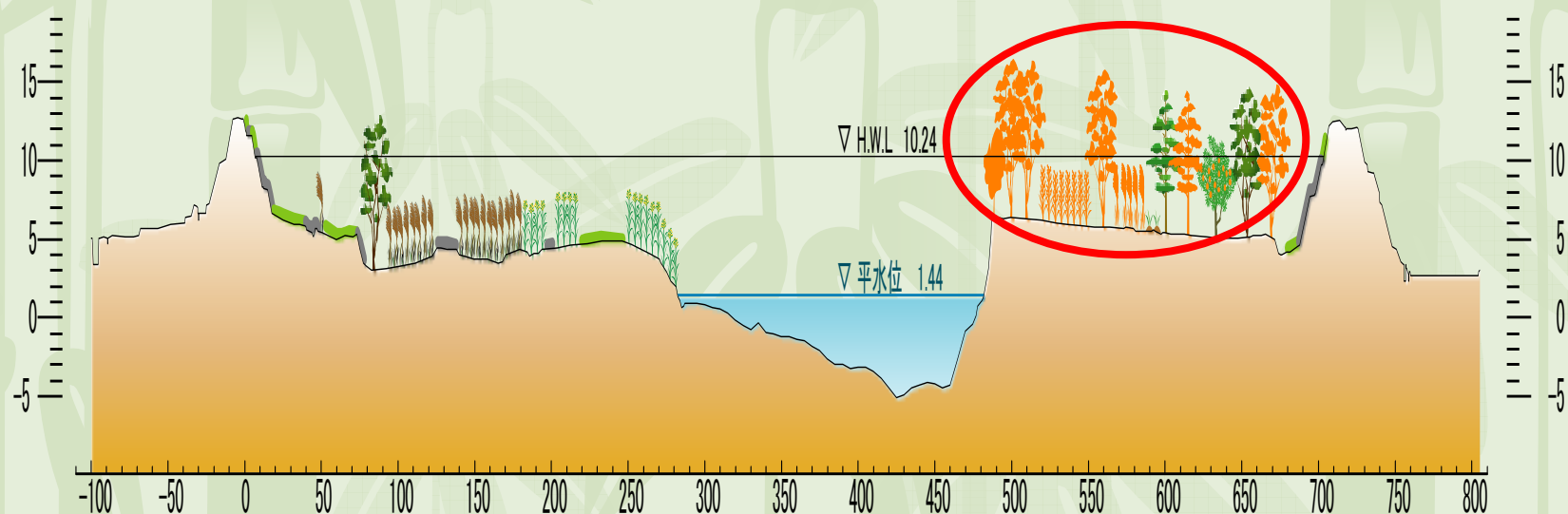
長良川の課題②

- ❖ 堤防や河川管理施設等の周辺に生育している樹木は、これら施設の安全性に悪影響を与える。



長良川の課題③

4. 河道内樹木の繁茂により、河川管理のための河川巡視やCCTV等の監視施設の視界を妨げている。
5. 堤防際に樹木が繁茂し、ゴミ等の不法投棄や防犯上の観点などより地域住民から樹木伐開の要望が出ている。



樹木伐開の基本方針

1. 治水

整備計画流量を安全に流下させるために、洪水流下の支障となる樹木の伐開や河道の掘削を実施する。

2. 環境

樹林化の進行により環境が悪化した箇所について、その状況や生物の生息・生育状況等により、優先度を設定し、保全・再生に努めるものとする。

3. 維持管理

河川管理施設に影響を与える樹木及び河川巡視等に支障となる樹木は伐開等を実施する。

樹木伐開の進め方

❖ 基本的な考え方の提案

- ・事務所のホームページ等で伐開計画概要（日時、伐開箇所及び伐開方法（案）等の情報を公開



❖ 地域の方々の意見を聴取

- ・地域の方々から意見をいただくとともに、NPO、漁協、野鳥の会等へヒアリングを行う。



❖ 樹木伐開

- ・頂いた意見への対応の可否について検討し、必要に応じて樹木伐開計画を修正し、伐開を実施する

平成20年度 樹木伐開予定範囲



平成20年度 長良川樹木伐開工事 計画範囲 (35.8k ~ 37.4k)

平成20年度 長良川樹木伐開の概要

樹林化を抑制するために伐開・除根を行います。

水際環境については、自然の洪水の繰り返しによる自然の働きにゆだねます。

上記については、以下のような点に配慮して施工を考えています。

- ❖ 野鳥等の営巣の時期を避け、10月以降に施工する。
- ❖ 鮎、サツキマス等の漁期、産卵期を避け、水際の施工は11月中旬から3月中旬までとする。
- ❖ 水際部については、作業時の濁水を最小限とするよう、最後に施工します。

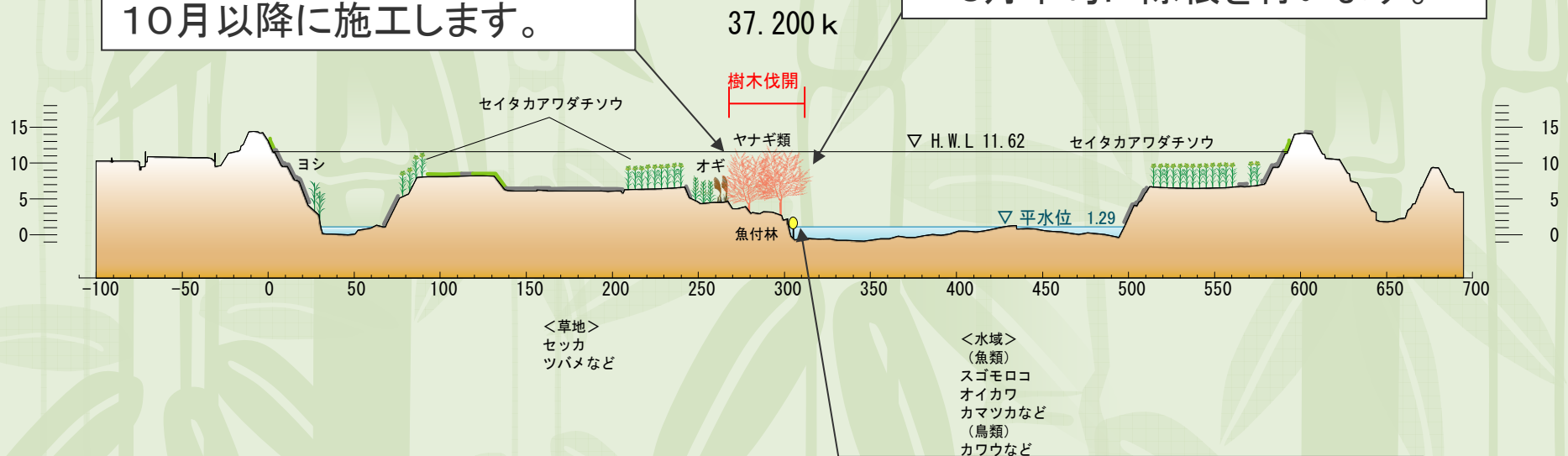
平成20年度 長良川樹木伐開の概要

樹林化を抑制するために伐開・除根を行います。

水際環境については、自然の洪水の繰り返しによる自然の働きにゆだねます。

野鳥等の営巣の時期を避け、
10月以降に施工します。

漁業期、産卵期を避け11月中旬
～3月中旬に除根を行います。

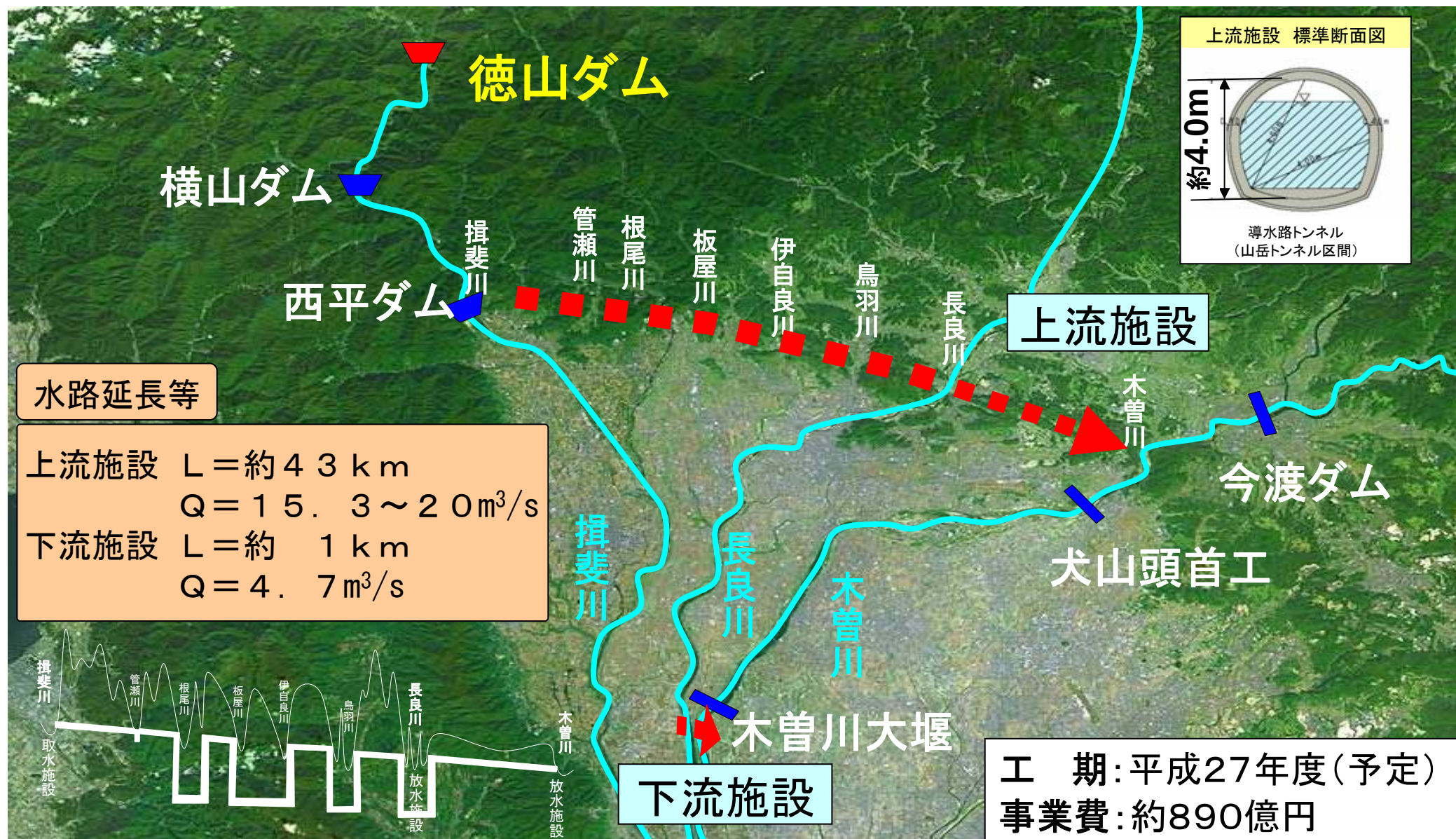


水際施工時には水質汚濁防止
フェンスを張るなど河川に与える
影響を極力少なくします。

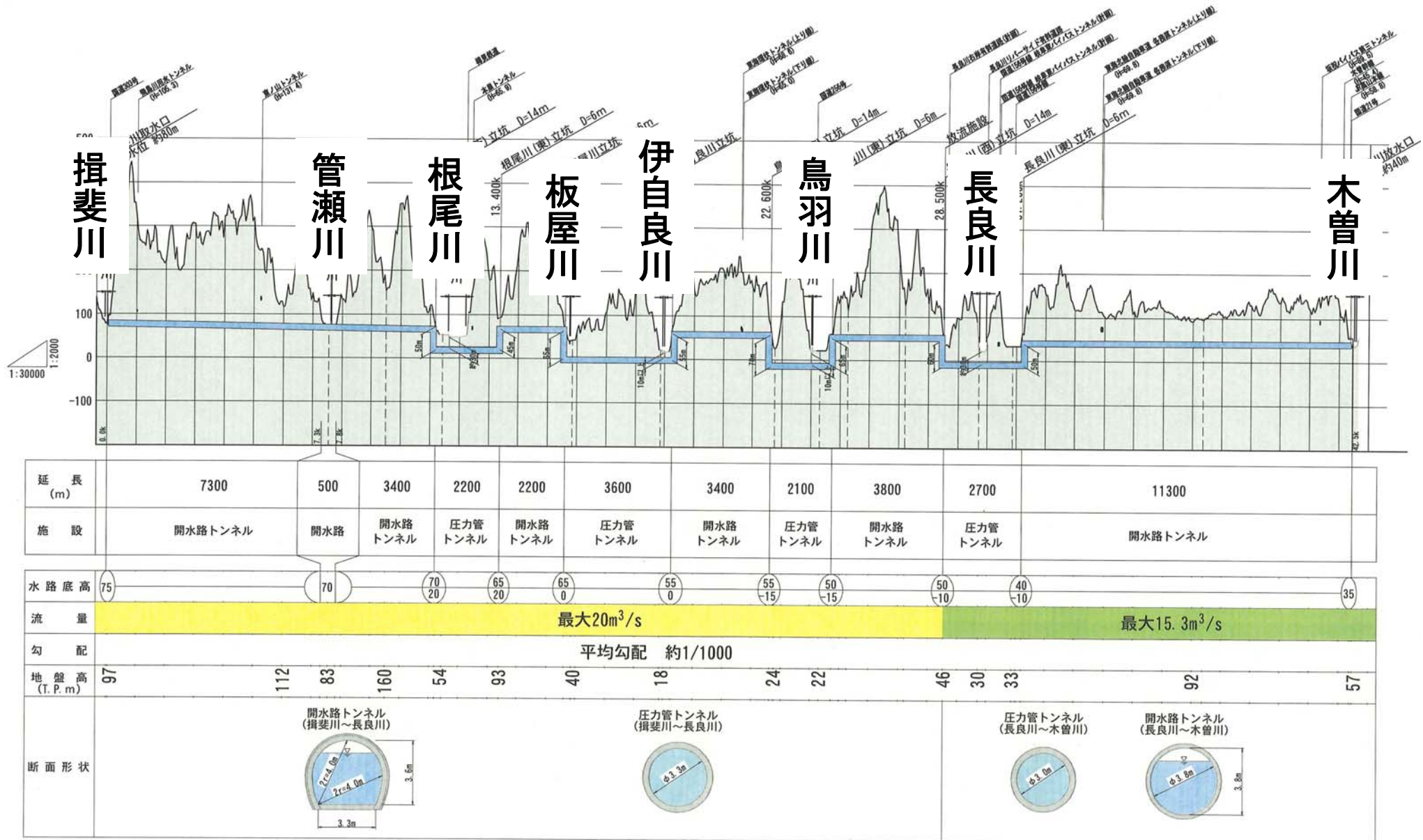
木曽川水系連絡導水路事業について

平成２０年６月２９日
国土交通省中部地方整備局

木曽川水系連絡導水路のルート



木曽川水系連絡導水路(上流施設)縦断計画(案)概要図

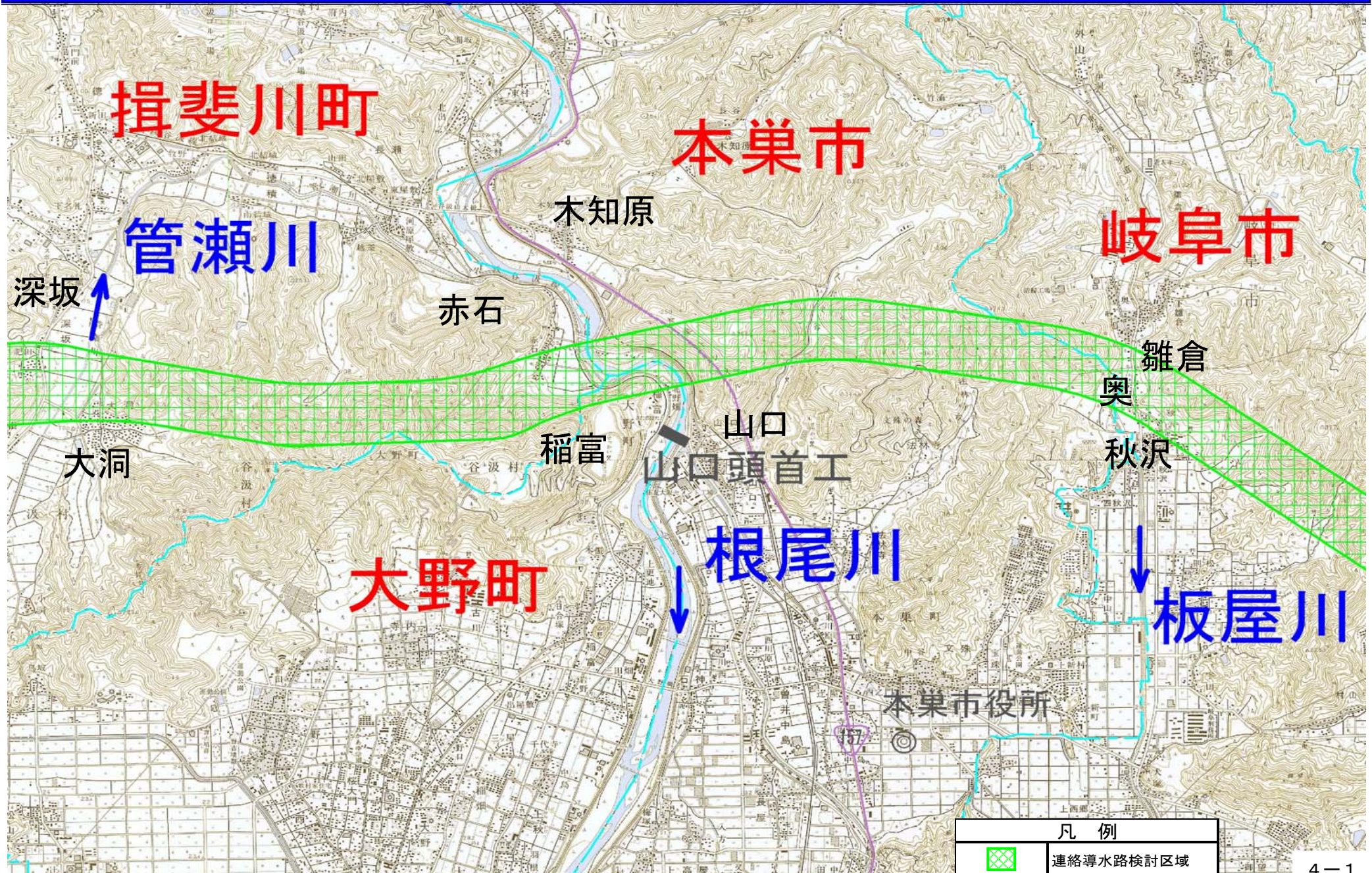


※ この縦断図は概要図であり、今後の検討により変わることがあります。

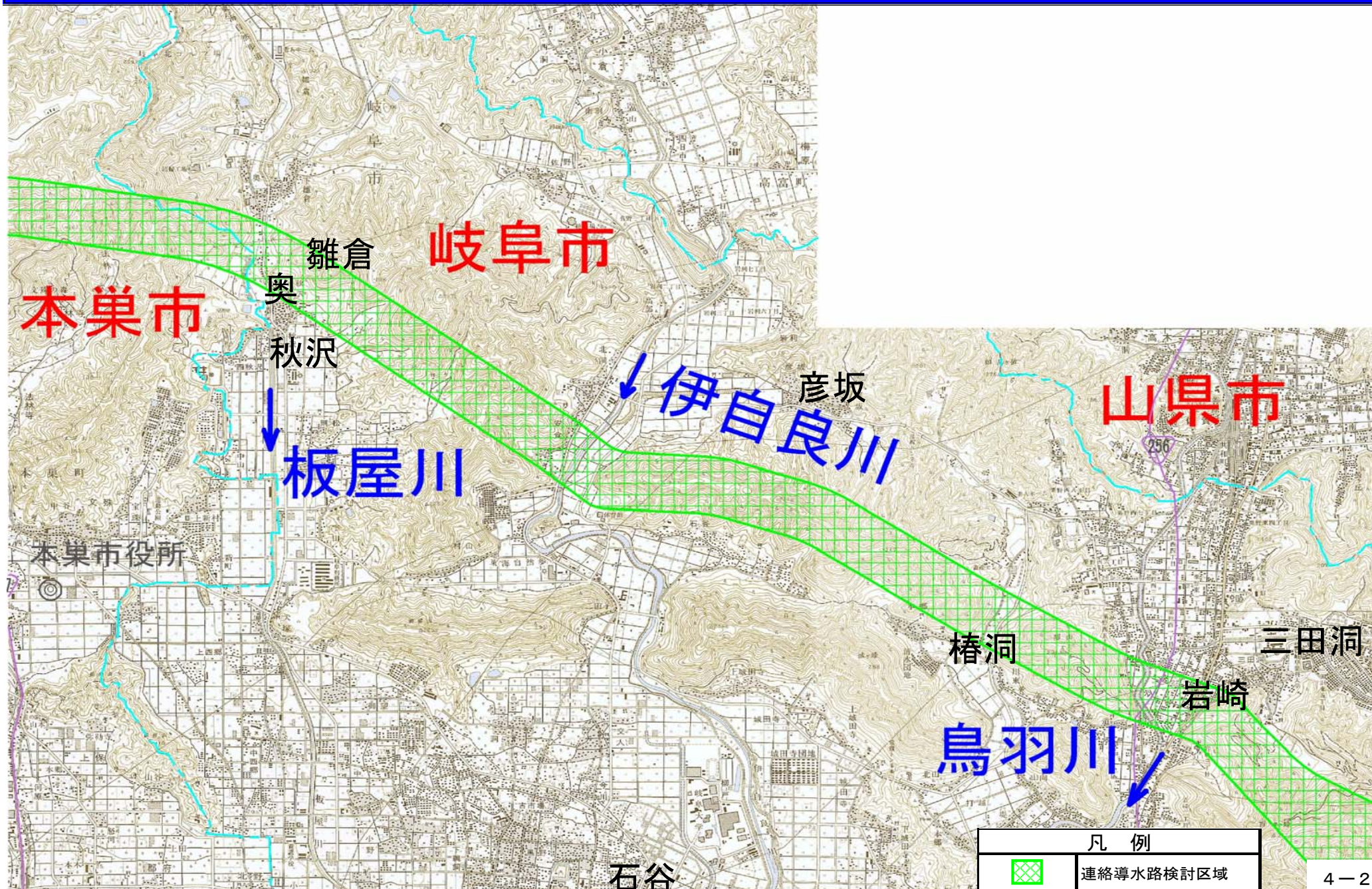
導水路(上流施設)検討区域(揖斐川町周辺)



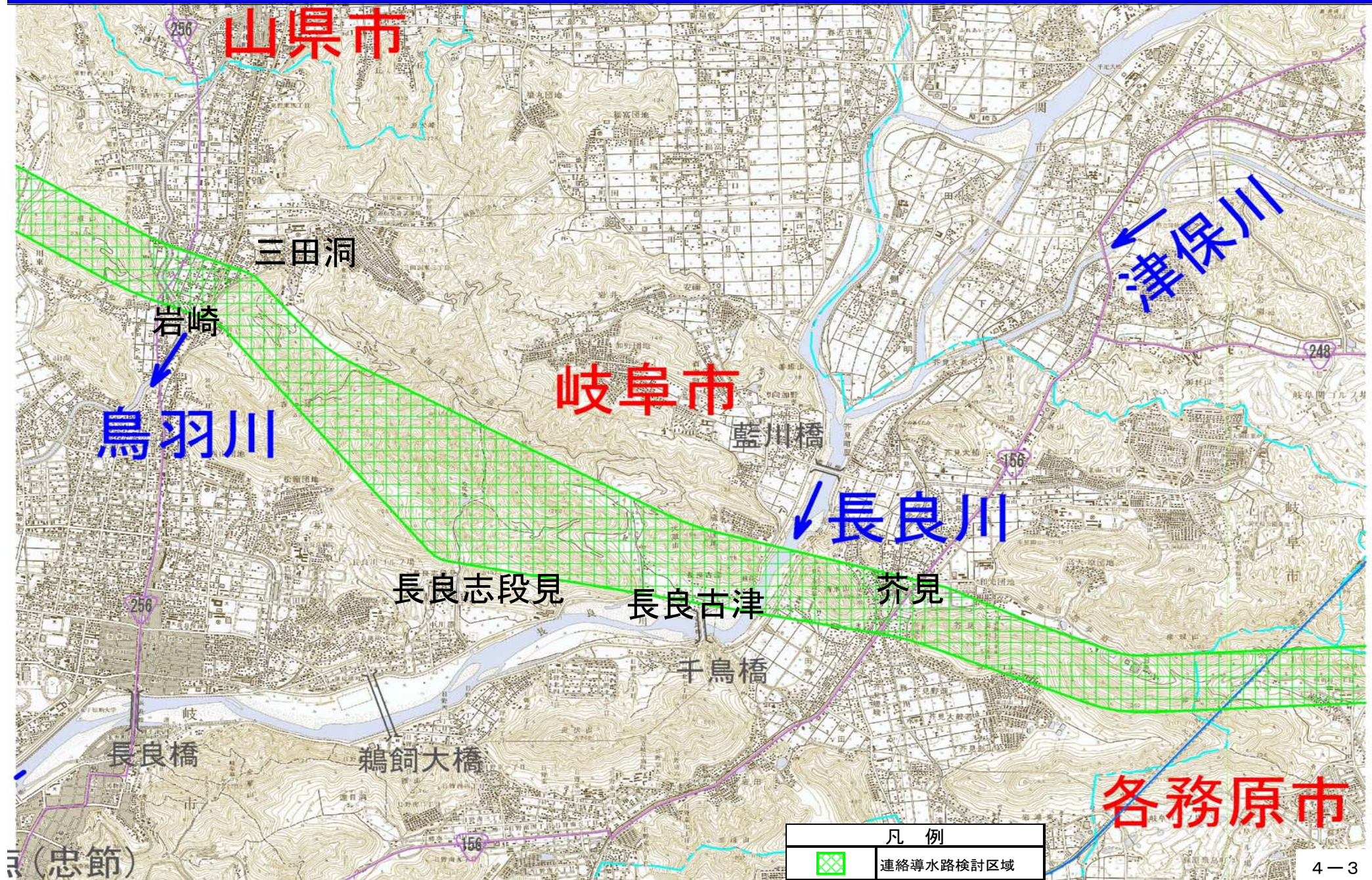
導水路(上流施設)検討区域 (本巢市周辺)



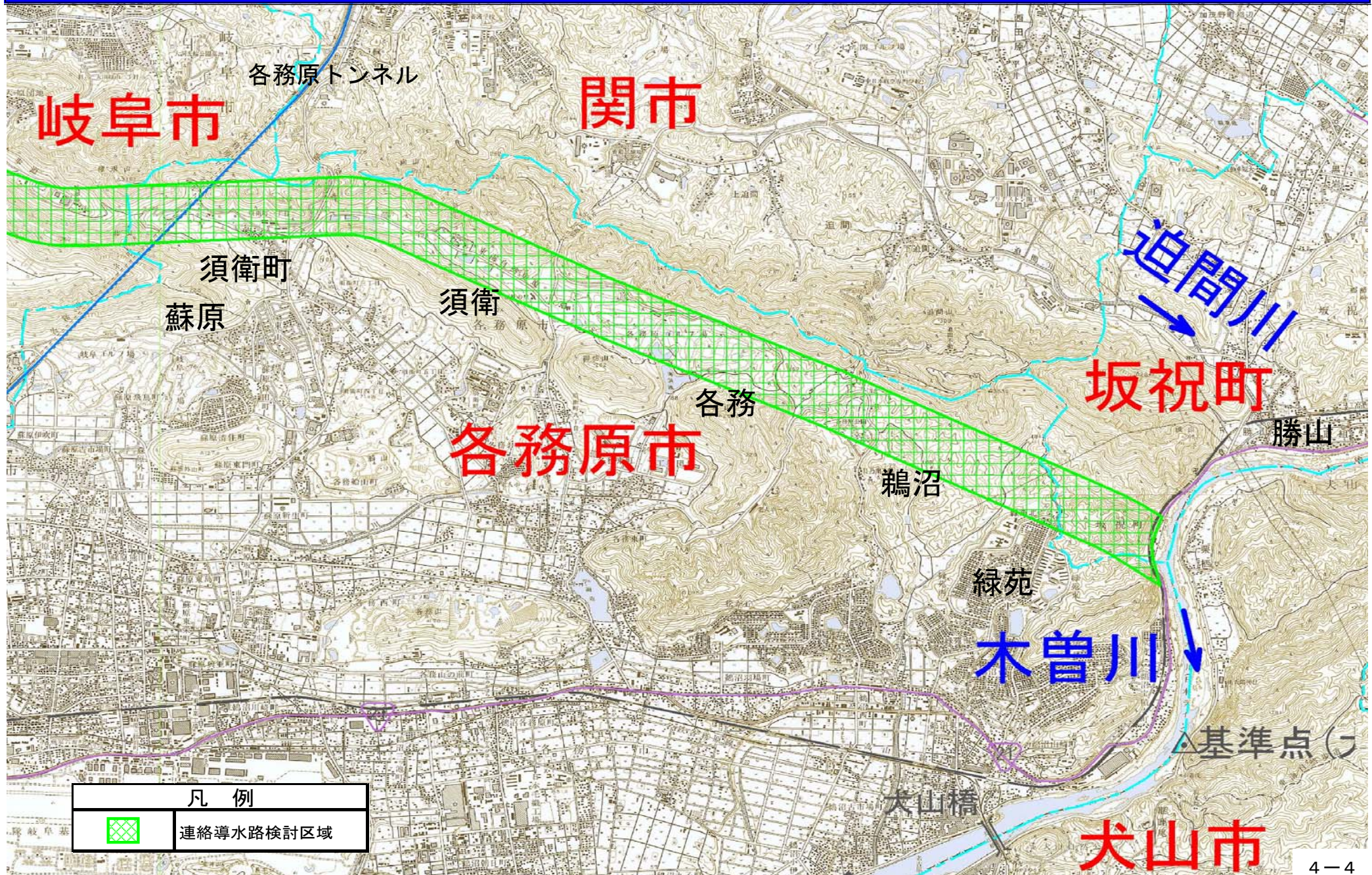
導水路(上流施設)検討区域 (岐阜市周辺) 1



導水路(上流施設)検討区域 (岐阜市周辺)2



導水路(上流施設)検討区域 (各務原市周辺)



連絡導水路(下流施設)検討区域



環境影響検討の項目

影響要因の区分 環境要素の区分			工事の実施		土地又は工作物の存在及び供用		
			取水施設・導水路 トンネル等の工事	建設発生土の 処理の工事	取水施設 ・導水路等の存在	取水施設 ・導水路等の供用	建設発生土 処理場の跡地の存在
大気環境	大気質	粉じん等	○				
	騒音	騒音	○				
	振動	振動	○				
水環境	水質	土砂による水の濁	○			○	
		水温				○	
		富栄養化				○	
		水素イオン濃度	○			○	
	地下水の水質及び水位	地下水の水位	○		○		
土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質			○		○
動物	重要な種及び注目すべき生息地		○		○		
植物	重要な種及び群落		○		○		
生態系	地域を特徴づける生態系		○		○		
景観	主要な眺望点及び景観資源 並びに主要な眺望景観				○		○
人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場		○		○		
廃棄物等	建設工事に伴う副産物		○				

○は、環境影響検討の項目として選定する項目を示す。

生態系では、迷入(特定外来生物の拡散を含む)についても検討する。

アユは、木曾三川を特徴づける代表的な種として、動物で取り扱う。

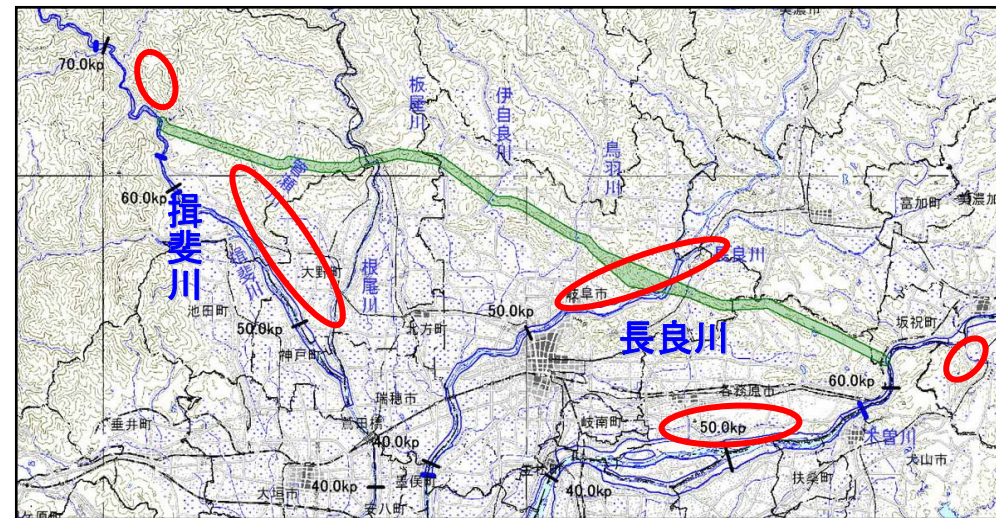
環境影響検討の項目については、今後の検討により変更する可能性がある。

アユの生息環境に関する調査

◆調査の目的

導水路の供用に伴いアユの生息環境（餌、物理環境）に与える影響を予測・評価するためのデータの収集。

◆調査の概要



■ : 導水路(上流施設)検討区域
○ : 調査位置(案)

- 調査項目
- ①付着藻類(種組成、強熱減量、クロロフィルa)
 - ②アユの胃内容物(胃内容物組成、胃充満度、肥満度)
 - ③物理環境(水深・流速・河床材、アユのはみ跡)

調査箇所

揖斐川(取水施設検討地域上流、中流域)
長良川及び木曽川(放水施設検討地域下流)

- 調査方法
- ①アユの捕獲
 - ②現場での計測及び観察
 - ③室内分析

調査時期 6月～7月上旬(遡上後、梅雨入前)、8月頃(定着期)、9月～10月(降下期)

魚類の交雑に関する調査

◆調査の目的

導水路の供用に伴う魚類の迷入による影響を予測・評価するためのデータの収集

◆調査の概要

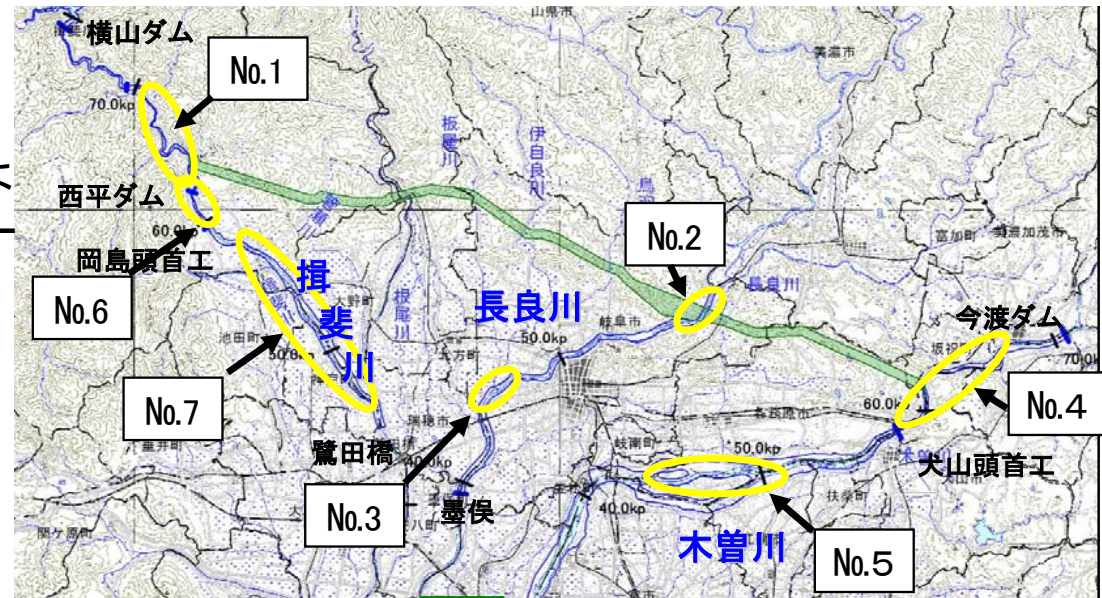
調査項目 遺伝子(魚類)の交雑状況の把握

調査箇所 木曽三川の7箇所

調査方法 魚類の捕獲、室内分析

調査対象 オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、ウグイ、カワヒガイ、ニゴイ、ドジョウ、アジメドジョウ、シマドジョウ、ナマズ、アマゴ、カジカ(大卵型)、トウヨシノボリ(調査対象：13種)

調査時期 捕獲： 6月～7月上旬を予定 分析： 9～11月を予定

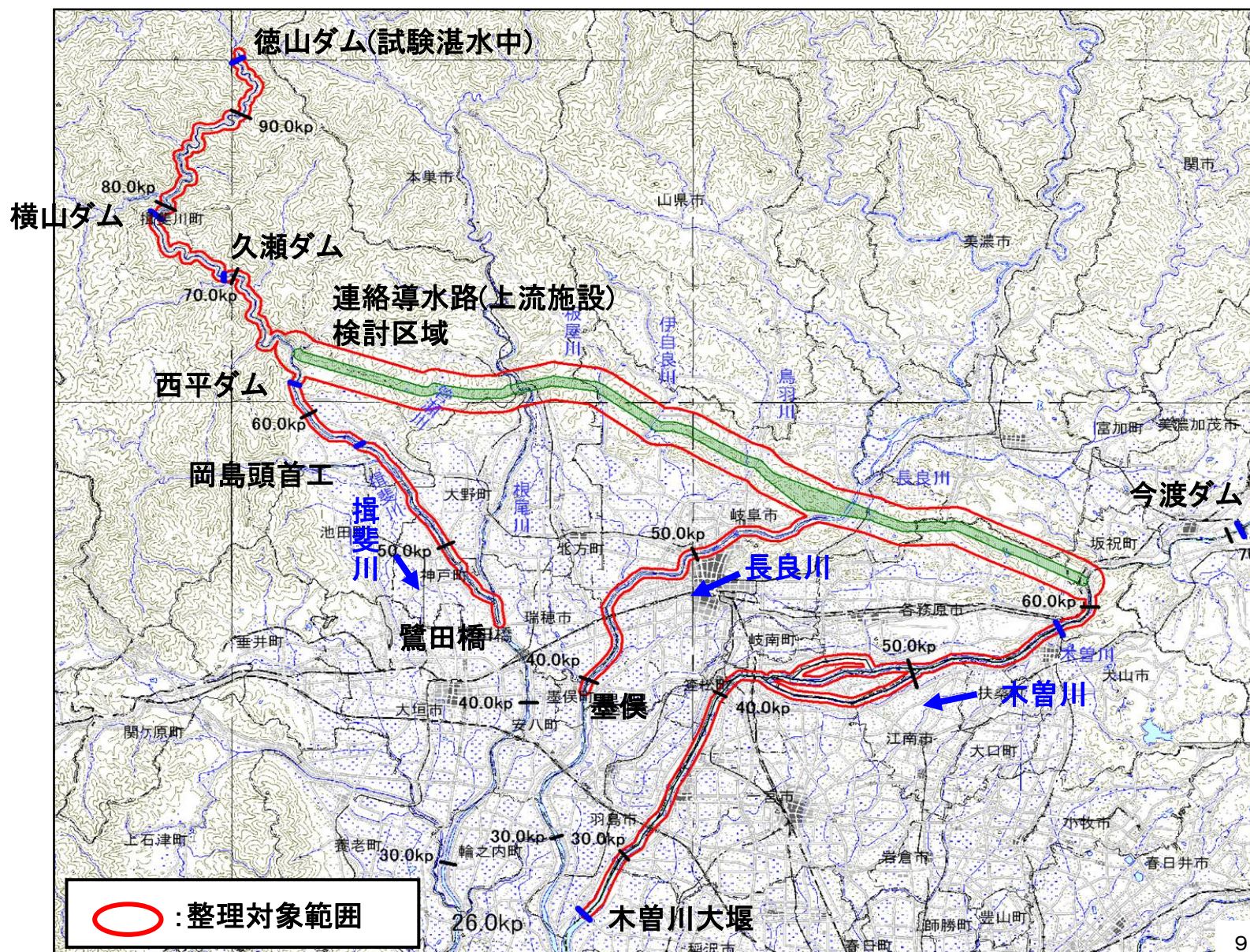


緑色網目 : 導水路(上流施設)検討区域

黄色円 : 調査位置

特定外来生物の調査・検討実施状況

木曽川水系連絡導水路に係る動植物調査、河川水辺の国勢調査結果等より特定外来生物の出現状況を確認した。



※整理に使用した資料は
以下のとおり

- ・ 木曽川水系連絡導水路
動植物調査
- ・ 河川水辺の国勢調査
- ・ 水資源機構による調査

特定外来生物の出現状況

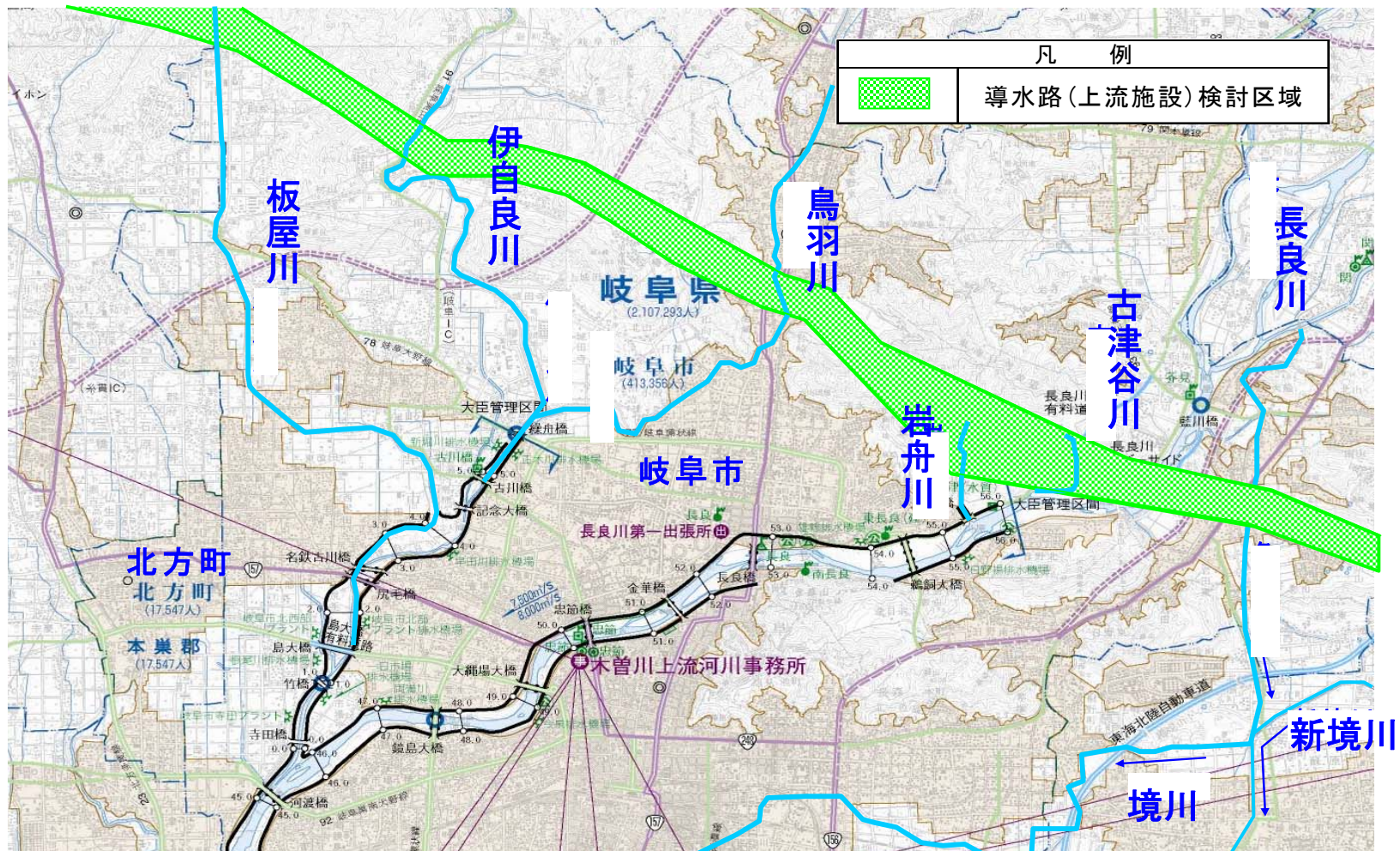
分類群	科 名	種 名	確認位置				
			導水路(上流 施設)検討区 域周辺	揖斐川		長良川	木曽川
				取水地点 上流	取水地点 下流		
哺乳類	ヌートリア	ヌートリア	●		●	●	●
	アライグマ	アライグマ	●			●	●
鳥類	チメドリ	ガビチョウ	●				
両生類	アカガエル	ウシガエル	●			●	●
魚類	カダヤシ	カダヤシ				●	
	サンフィッシュ	ブルーギル	●			●	●
		オオクチバス	●			●	●
底生動物	イガイ	カワヒバリガイ					●
植物	ウリ	アレチウリ			●	●	●
	アリノトウグサ	オオフサモ				●	●
	ゴマノハグサ	オオカワヂシャ				●	●
	キク	オオキンケイギク	●		●	●	●
		オオハンゴンソウ				●	
	サトイモ	ボタンウキクサ				●	

本表の整理対象範囲は下記の通り。

揖斐川取水検討地域上流: 徳山ダム～西平ダム上流 揖斐川取水検討地域下流: 西平ダム～鷺田橋
 長良川 : 長良川放水検討地域～墨俣 木曽川 : 木曽川放水検討地域～木曽川大堰

長良川への放流の検討

1. 都市用水 $0.7\text{m}^3/\text{s}$ の通常時の放流先
 - ・ 通常時の都市用水 $0.7\text{m}^3/\text{s}$ については、長良川の支川へ放流する案等を検討中
2. 異常渇水時の環境 $4.0\text{m}^3/\text{s}$ ＋都市用水 $0.7\text{m}^3/\text{s}$ の放流先
 - ・ 異常渇水時は長良川中流域の流況を改善するための放流案を検討中

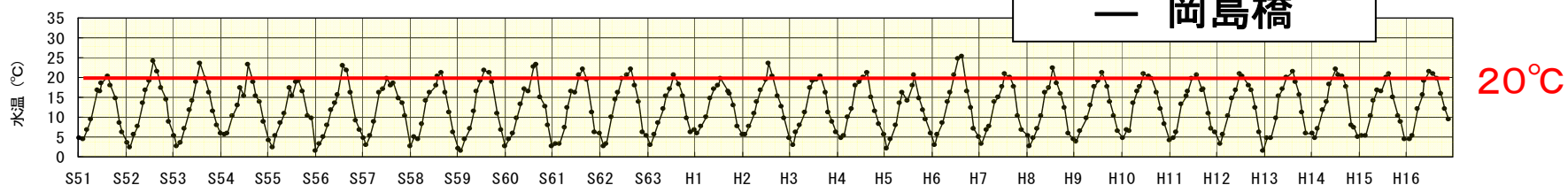
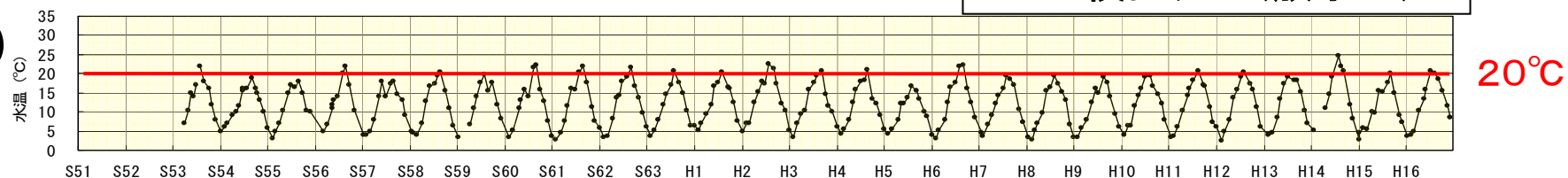


木曽三川 水質の比較

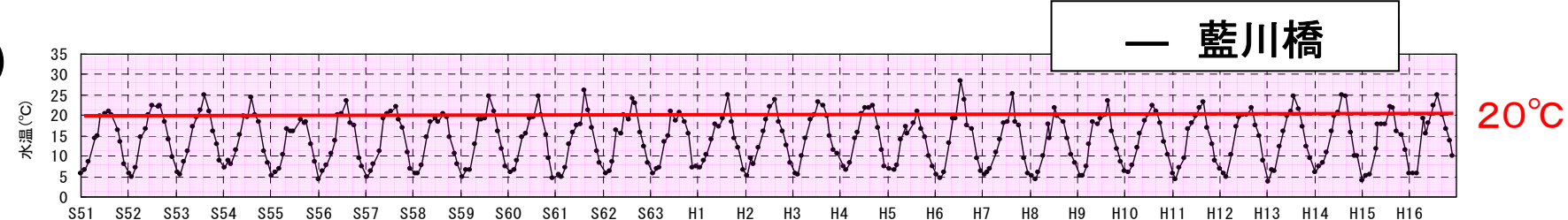
河川名	地点名	水温	SS	BOD
揖斐川	徳山ダム (ダムサイト) (AA)	0.1～25.1℃ <u>平均11.8℃</u>	1未満～35mg/L <u>平均3mg/L</u>	0.1～4.6mg/L 年75%値が環境基準を満足
	横山ダム (放水口) (AA)	2.3～24.8℃ <u>平均12.1℃</u>	1～183mg/L <u>平均8mg/L</u>	0.1～3.3mg/L 年75%値が環境基準を満足
	岡島橋 (AA)	1.4～25.3℃ <u>平均12.4℃</u>	1～79mg/L <u>平均4mg/L</u>	0.1～1.5mg/L 年75%値が環境基準を満足
長良川	藍川橋 (A)	3.7～28.3℃ <u>平均13.9℃</u>	1未満～37mg/L <u>平均5mg/L</u>	0.1～4.0mg/L 年75%値が環境基準を満足
木曽川	犬山橋 (A)	2.8～27.5℃ <u>平均13.9℃</u>	1未満～38mg/L <u>平均5 mg/L</u>	0.2～2.2mg/L 年75%値が環境基準を満足
環境基準値		—	AA類型・A類型 : 25mg/L以下	AA類型 : 1mg/L以下 A類型 : 2mg/L以下

木曽三川 水温の比較

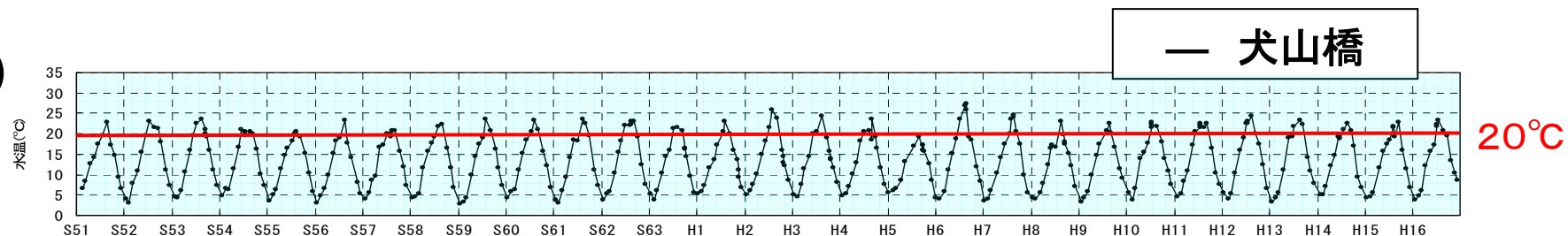
(揖斐川)



(長良川)

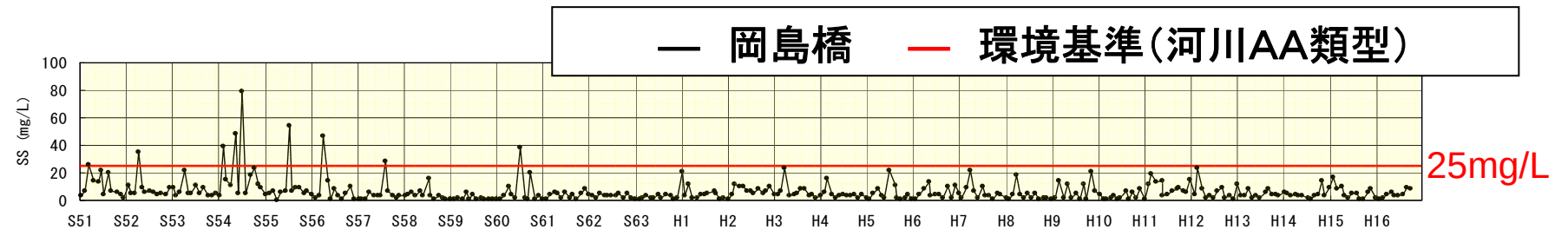
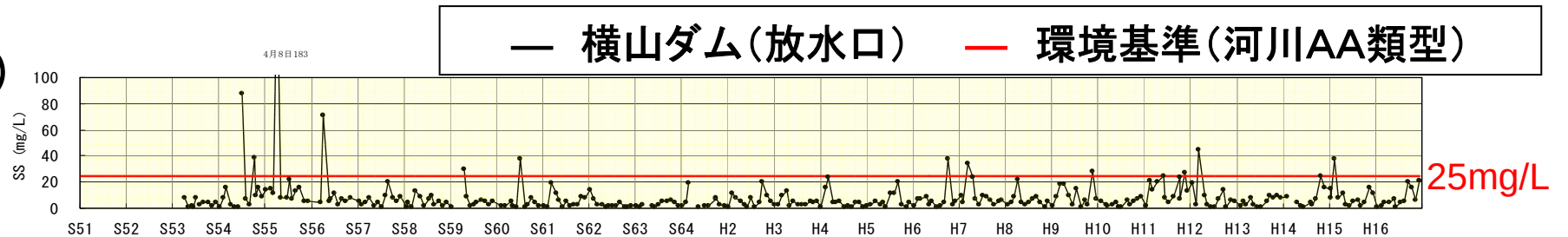


(木曽川)

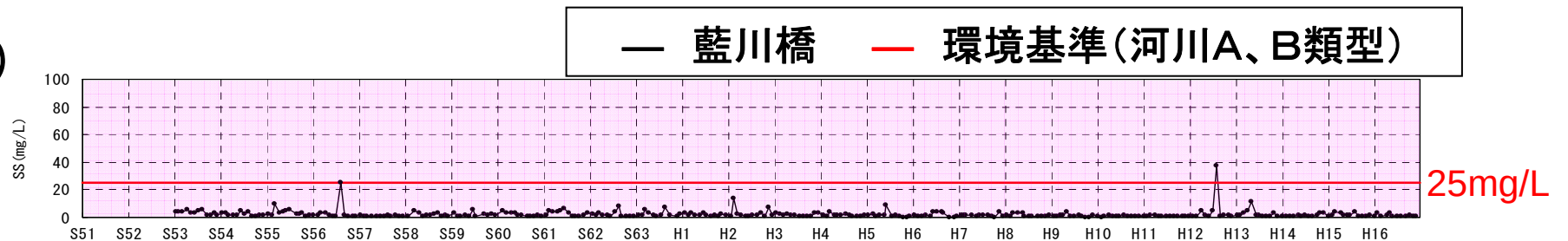


木曽三川 SSの比較

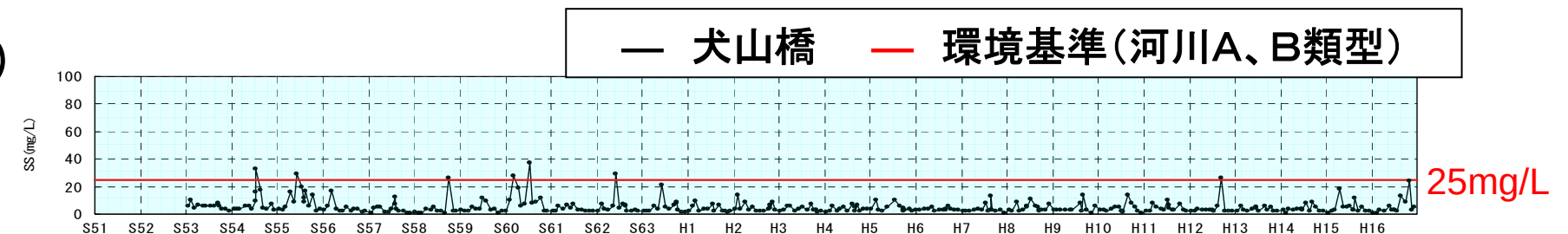
(揖斐川)



(長良川)

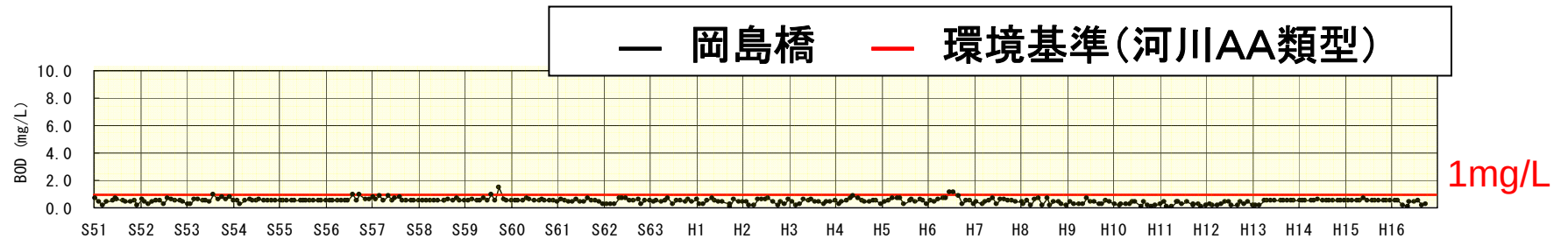
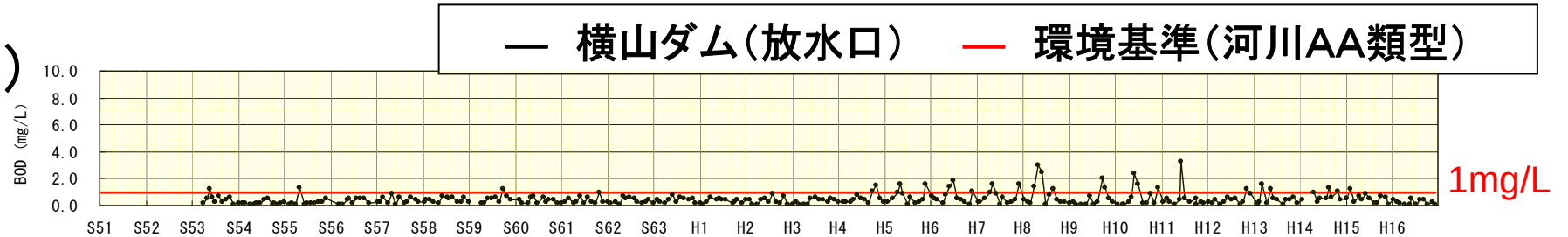


(木曽川)

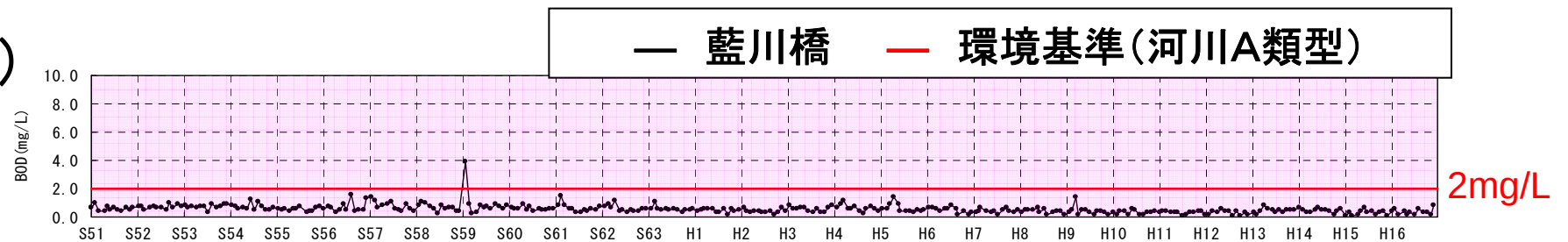


木曽三川 BODの比較

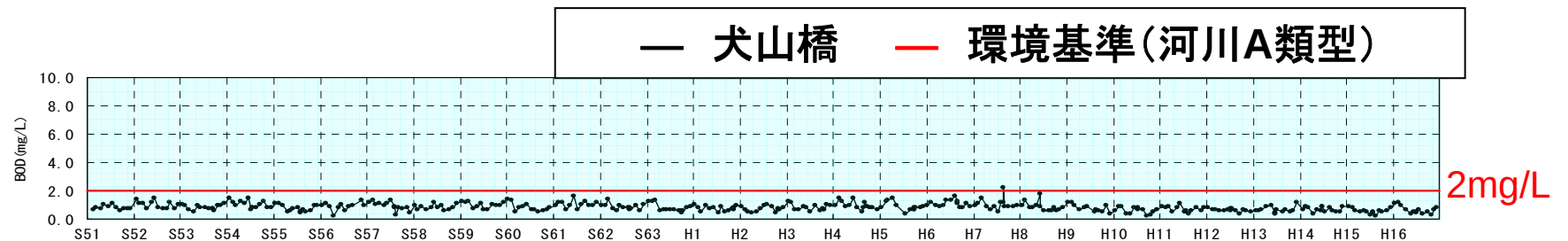
(揖斐川)



(長良川)

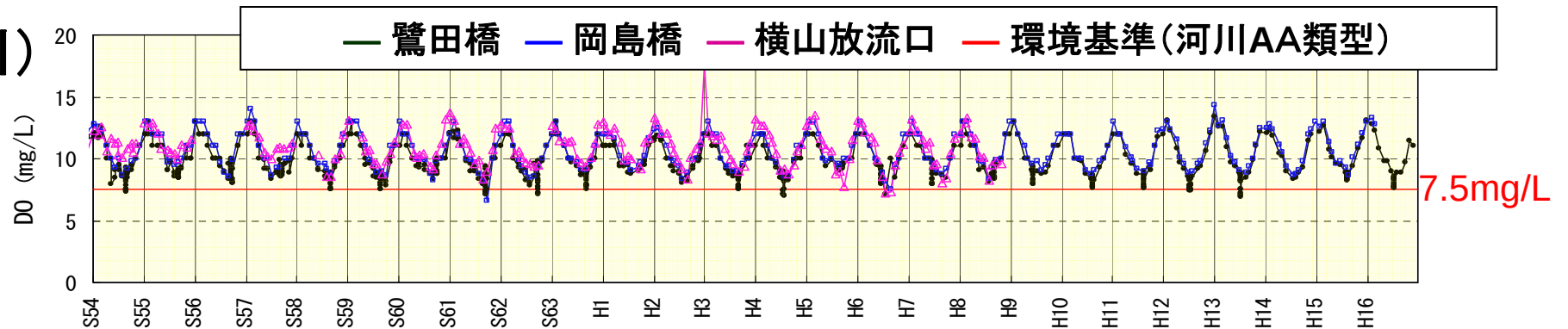


(木曽川)

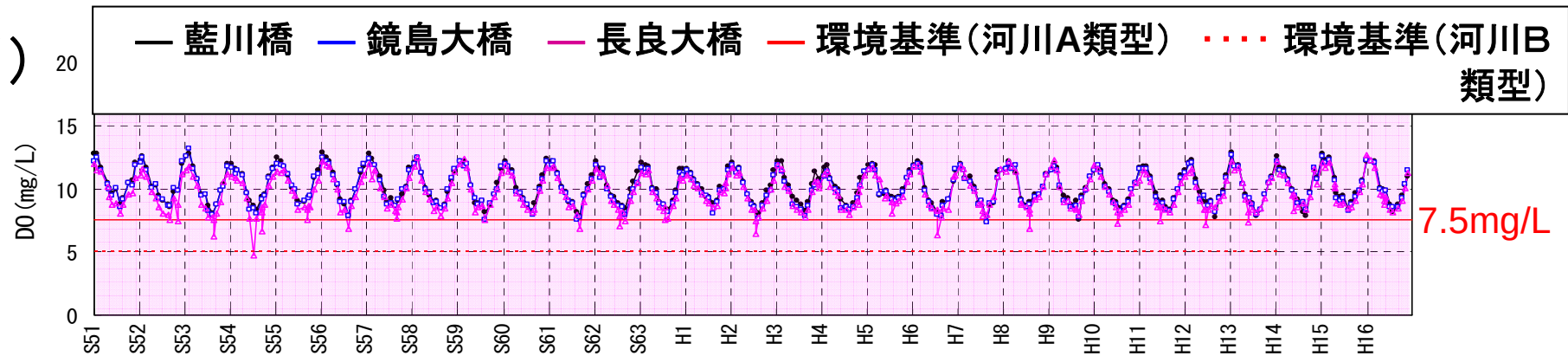


木曽三川 DOの比較

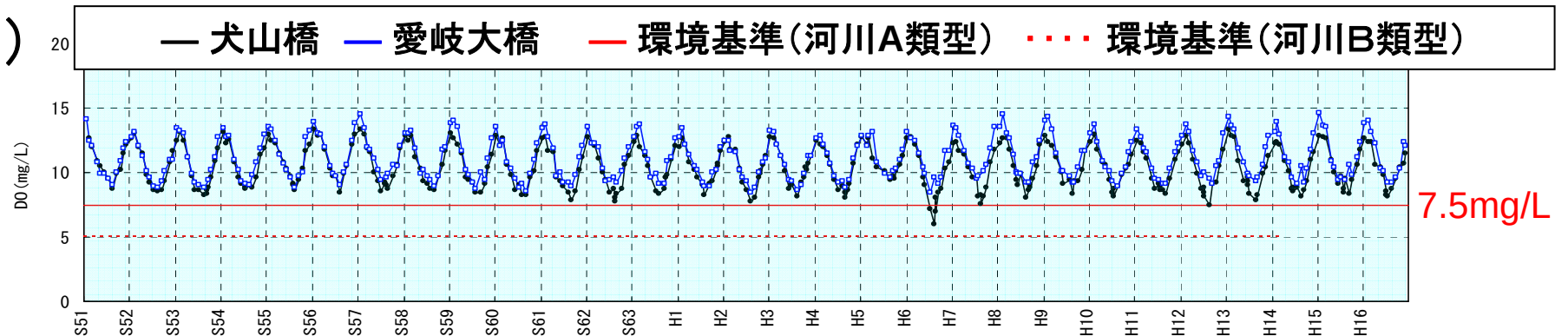
(揖斐川)



(長良川)



(木曽川)



揖斐川の水質予測

概 要

- 木曽川水系連絡導水路による環境への影響検討のため、揖斐川、長良川、木曽川の水質を予測する必要がある。
- 今回、導水路と合わせた徳山ダム運用により変化すると考えられる揖斐川の水質について予測する。水質予測にあたっては、様々な流況の年が含まれており、貯水池運用の年間データが揃っている平成3年から平成12年までの10年間で行う。
- 水質予測は、「中部地方ダム等管理フォローアップ委員会徳山ダムモニタリング部会」で、再現性が検討・確認された水質予測モデルを使用する。

○導水路取水地点(西平ダム)水質予測結果の概要

(水温)

- ・水温については、徳山ダム建設前とほぼ同程度と予測。
- ・なお、平成6年のように大渇水が起きた年は、徳山ダムに貯留されている渇水対策容量を使って揖斐川や長良川、木曽川に流して、河川の水量を確保(例えば、揖斐川では岡島で $10\text{m}^3/\text{s}$ 、万石で $20\text{m}^3/\text{s}$)するよう運用するが、夏から秋にかけて建設前に比べ水温が下がると予測。

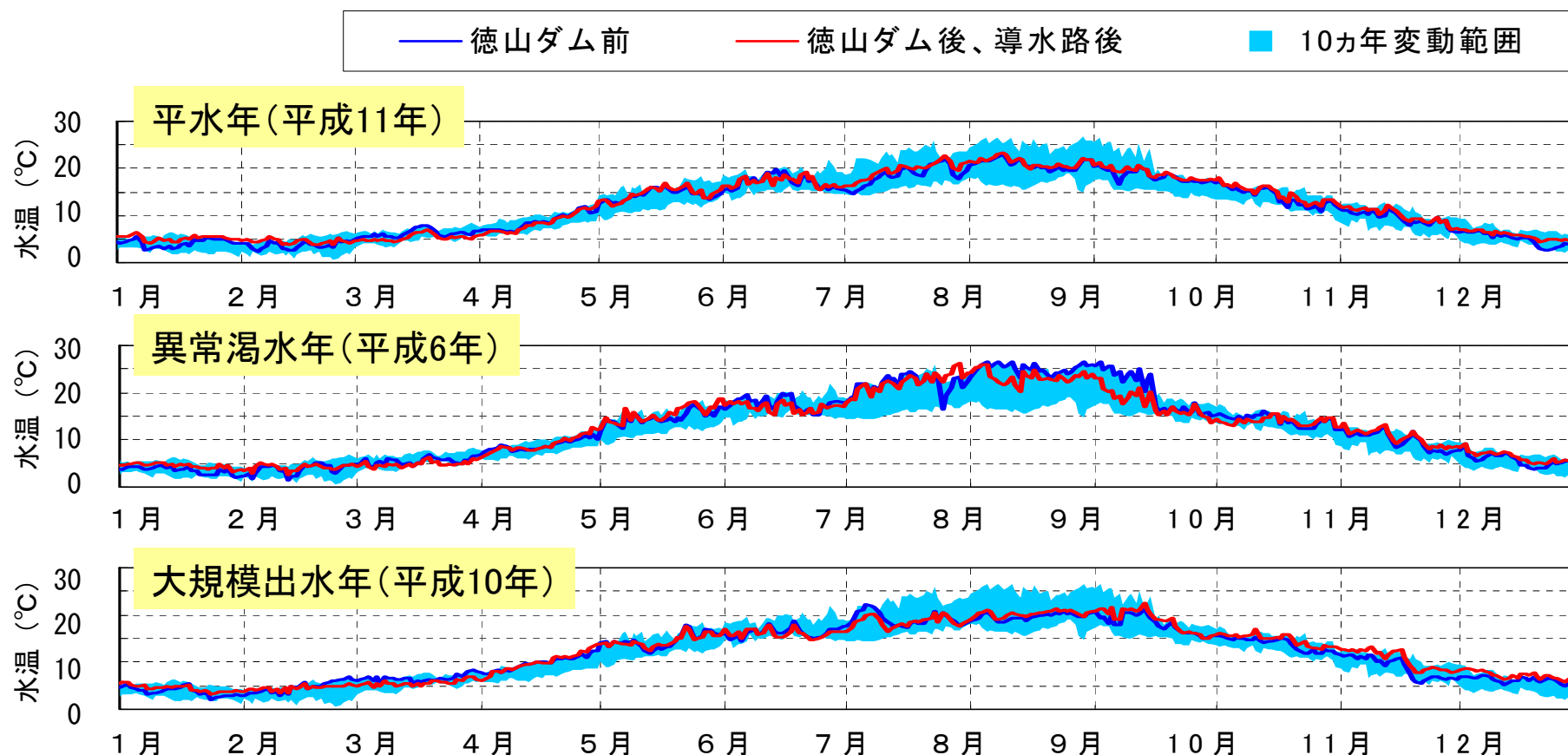
(水の濁り)

- ・水の濁りについては、建設前に比べて、環境基準値である 25mg/l を上回る日数が減少すると予測。ただし、大規模な出水時には、濁水の長期化現象が発生する可能性がある。

(BOD)

- ・BODについては、建設前とほぼ同程度か低下すると予測。

水 温

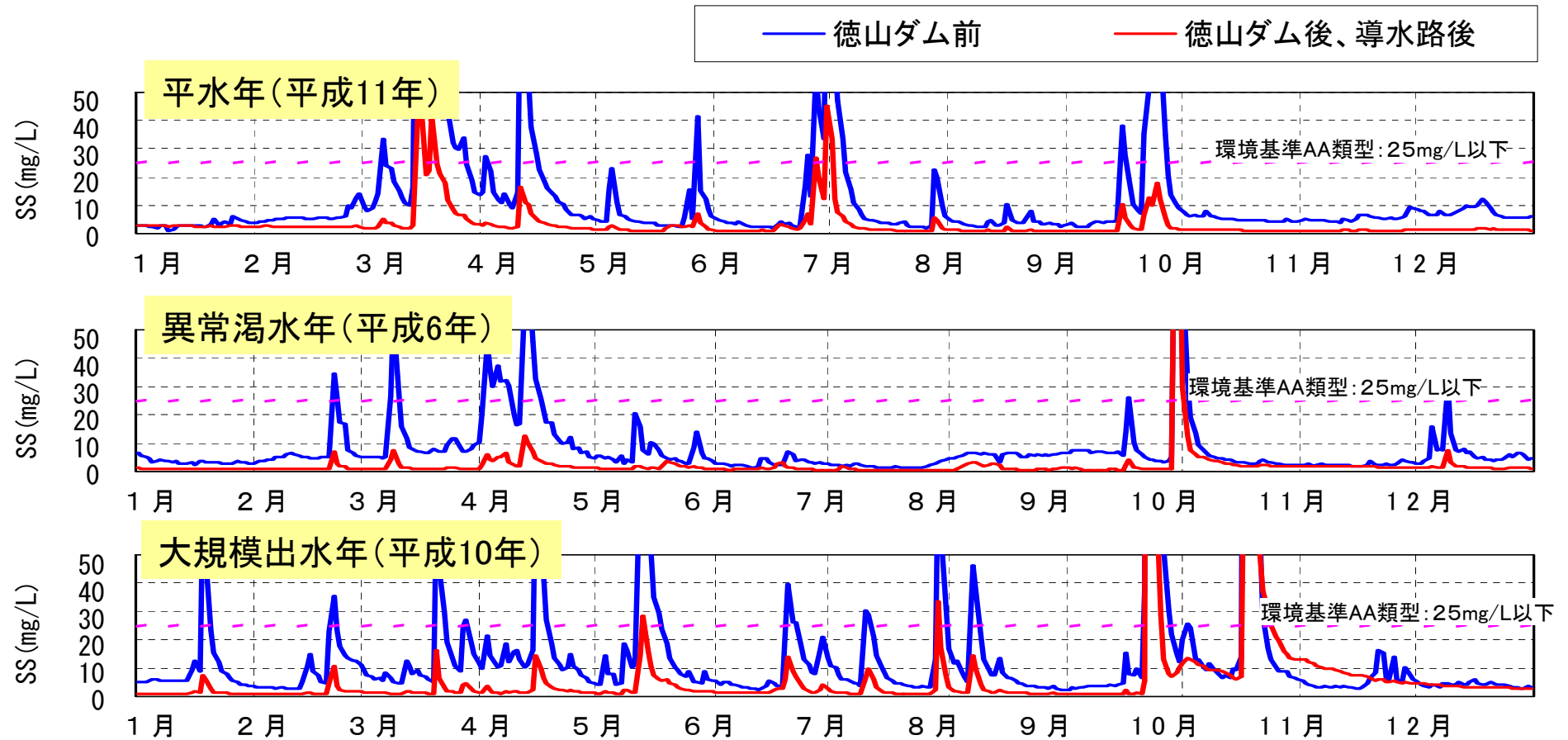


平水年 (平成11年) : 徳山ダム建設前と導水路完成後の水温変化は小さいと予測される。

異常渇水年 (平成6年) : 導水路完成後の水温は、徳山ダム建設前に比べて、夏から秋にかけて低下すると予測される。

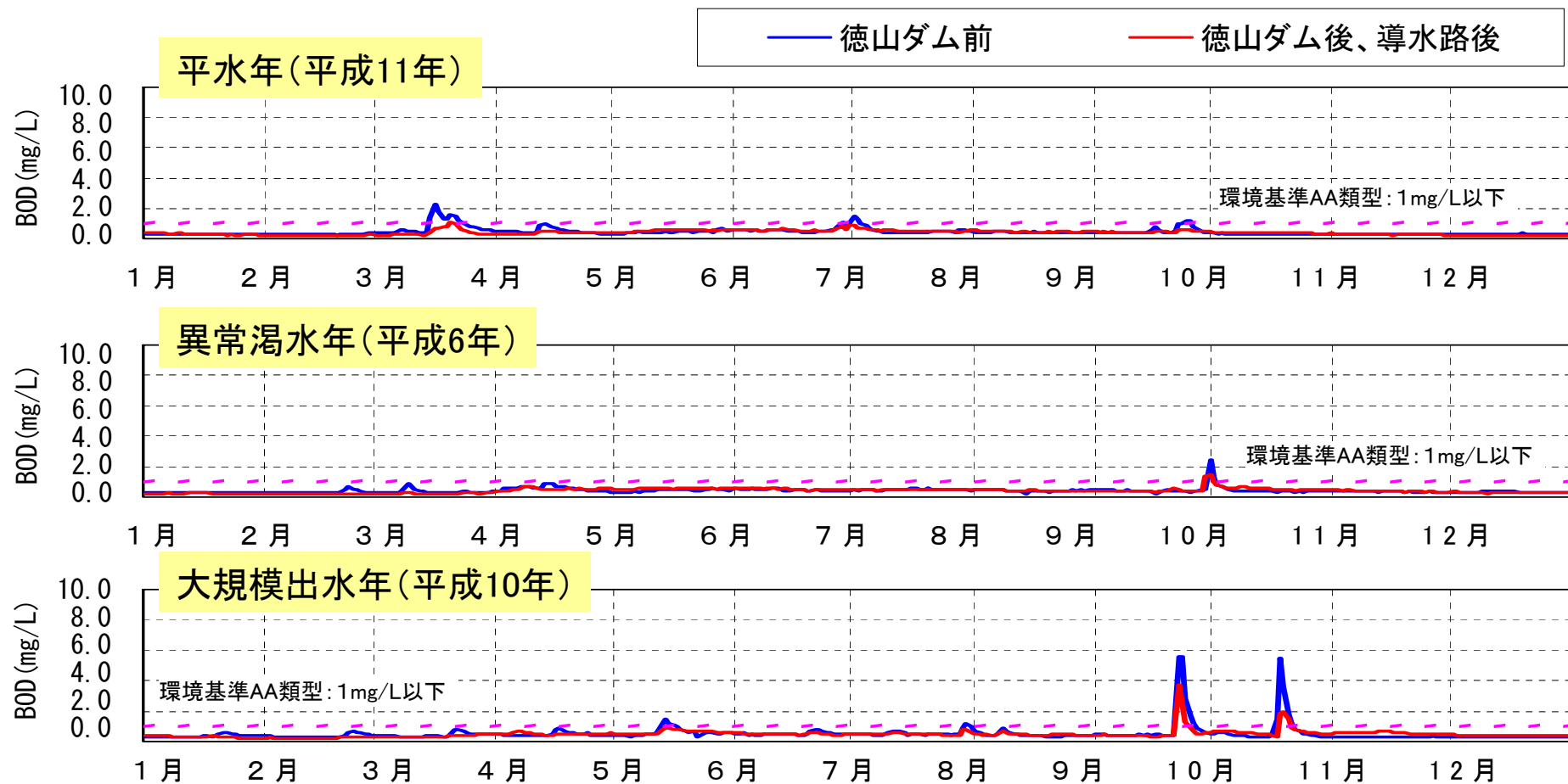
大規模出水年 (平成10年) : 導水路完成後の水温は、徳山ダム建設前に比べて秋の終わり頃に水温が高くなることもあるが、概ね導水路完成後の水温変化は小さいと予測される。

SS



- 平水年 (平成11年) : 導水路完成後のSS濃度は、徳山ダム建設前に比べて低くなると予測される。
- 異常渇水年 (平成6年) : 導水路完成後のSS濃度は、徳山ダム建設前に比べて低くなると予測される。
- 大規模出水年 (平成10年) : 水質予測した10ヶ年のなかで最大規模の洪水が9月末にあり、徳山ダム貯水池全体が濁ることにより、導水路完成後は徳山ダムからの濁水放流が長期化すると予想される。

BOD



平水年 (平成11年)、異常渇水年 (平成6年)、大規模出水年 (平成10年)

導水路完成後のBOD濃度は、平水年、異常渇水年、大規模出水年とも出水後に若干高くなることもあるが、1年を通して徳山ダム建設前とほぼ同等かやや低くなると予測される。

第一回ふれあいセミナーで頂いたご意見(1/2)

今年の揖斐川の水温は非常に低い。今度取水して長良川や木曽川に持っていかうとする水は地下を通ってくるから非常に冷たい。また、木曽の山と徳山の上流の山の岩盤は全く違うから水のpHも違う。本当のことだけを知った上で、いい意見を出していただきたい。

導水路計画の縦断図面を見ると何十mの凹凸があり、勾配が1/1,000でパイプの中が4mの直径の管だったら絶対に下にすぐ1/3ぐらいは砂が詰まるが、ランニングコストはどうするのか。もっと真剣に将来のツケに関してどうしたらいいかを考えてほしい。

徳山ダムができるときの利水計画とそれ以後に変更された利水計画ではどのように変わっているのか。長良川・木曽川への導水路を計画された時点の前と後では、利水計画がどのように変わっているのか。名古屋市・愛知県の利水計画の変更等について時系列で話をしてもらいたい。資料をいただきたい。

木曽川水系連絡導水路環境検討会が第4回より公開で実施されているが、その前の分の要旨ではなく議事録を公開して欲しい。

私は導水路事業に賛成だが、国交省がやろうとしている考え方とは異なる。国の考えの中で環境というテーマが出ていて、生物が育成でき、繁殖し、そこで生息できる環境をつくるというのが基本だと思う。今度の導水路事業でこのところを考えてほしい。

長良川の右岸側は山から水が入り、左岸側は5 m³/sの水を長良川から給水して各務用水が入っていて、境川・荒田川・新荒田川がとてもしいい水環境になっているが、10月になると1滴の水もなくなり、そこにいる生物がすべて死滅する。人間だけでなく、地球上にいる生き物すべてにお金を少し使ってみんなが活用できるような導水事業というか河川事業にしてほしい。こういういい機会に、導水事業としてももう少し広い範囲で水を活用する、水を生かすということを考えてほしい。

新丸山ダムの嵩上げによる成戸地点で40 m³/sの水の確保と、導水路による成戸地点で40 m³/sの水の確保の関連性を教えてほしい。

将来の子供達のために、連絡導水路による長良川への導水は必要と思う。地球温暖化で気温・水温の上昇、渇水の深刻化が考えられる。この対策として、連絡導水路による長良川への導水が不可欠かつ、有効と思います。

第一回ふれあいセミナーで頂いたご意見(2/2)

導水路の建設については、賛成であります。天候の変動による渇水の予測は出来難い。太陽系の影響ともCO2の影響とも言われている温暖化は早急に解決出来るとは思わない。

木曽川連絡導水路のルートで東海環状自動車道のルートがクロスしますが、その高さや近隣など問題はないでしょうか。（掘削の影響など）
→東海環状のルート変更による影響はないでしょうか。

徳山ダムからの導水路計画について必要なのは、愛知県であり、長良川には自然環境から考えても不必要であり計画を廃止していただきたい。

導水路についてはやっぱり反対。今すぐストップすべき。住民投票にしてほしい。

導水路計画に関して、渇水対策についても、コスト面を考えて導水路によらない代替手段がないのかどうか検討すべきである。膨大な事業費を要するものだけに、真に緊急性のある事業なのかどうか三県一市で改めて議論をしなければならない。

導水路のルート付近に断層が通っているが、地震が起きた場合にどのような措置をとられるのか。

出来るだけ上流に連絡導水路の出水口をもっていただきたい。坂祝を今渡に近づけたい。（丸山ダムの放水量増も期待したい）

魚類の迷入交雑が懸念されるという意見が連絡導水路の委員会に出ていますが、明治改修までは三川がすべてつながっているわけであり、今さら交雑の議論をすべきなのか。

連絡導水路施設の防災面（地震）に対する検討は？

連絡導水路環境検討会（現在）に市町の首長を入れるべき。

連絡導水路計画は、徳山ダム基本計画（当初）に計画されていたのか？

参考資料

H20. 6. 1 第1回ふれあいセミナー説明資料

木曽川水系連絡導水路について

木曽川水系連絡導水路事業の計画概要

事業の目的

(1) 流水の正常な機能の維持(異常渇水時^{*}の緊急水の補給)

環境

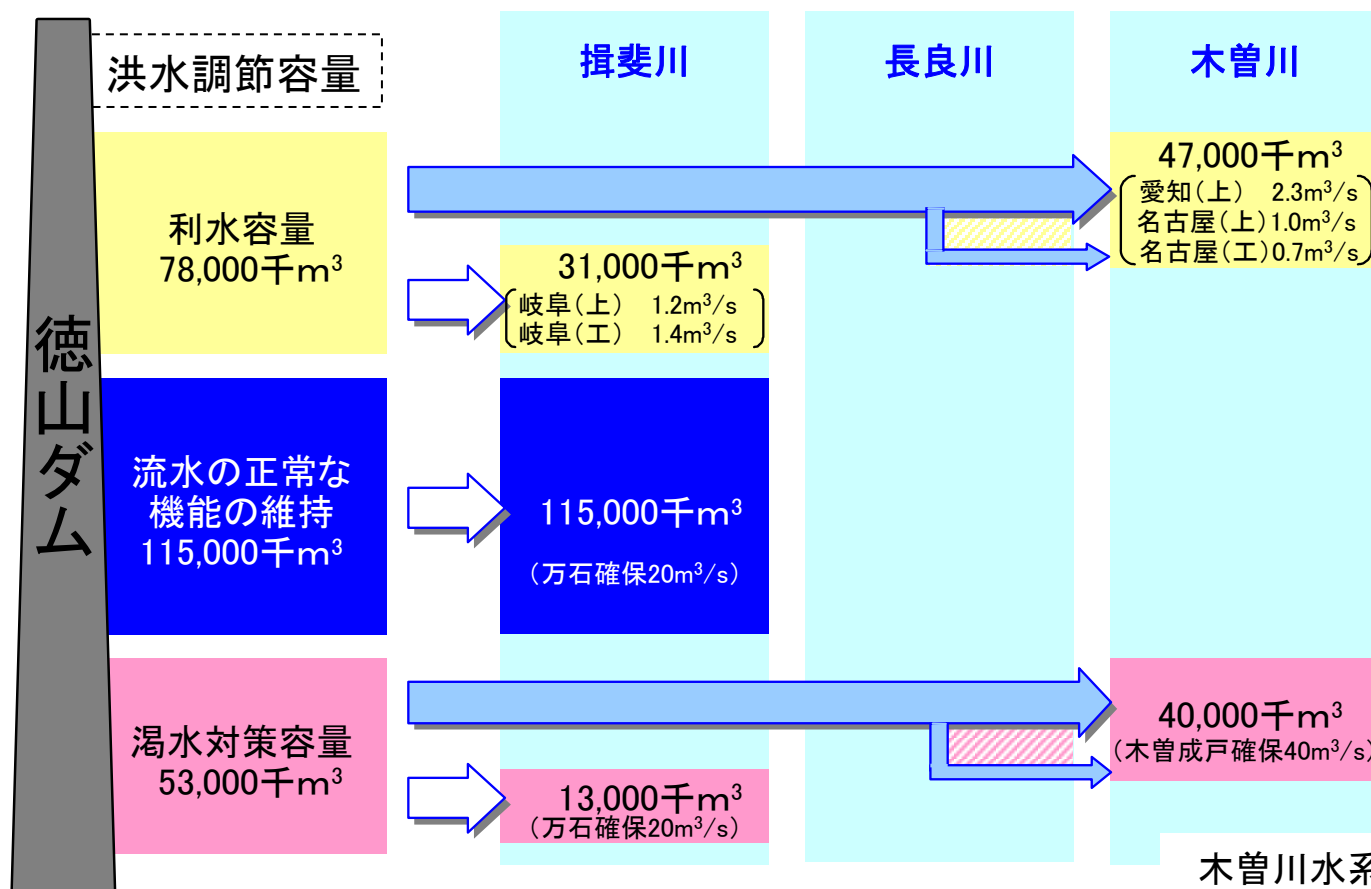
木曽川水系の異常渇水時^{*}において、徳山ダムに確保された渇水対策容量の内の4,000万 m^3 の水を木曽川及び長良川に導水することにより、木曽成戸地点で約40 m^3/s を確保し、河川環境の改善を行う。

(2) 水道用水及び工業用水の供給

利水

徳山ダムで開発した愛知県及び名古屋市の都市用水を最大4 m^3/s 導水することにより、木曽川で取水できるようにする。

^{*} 異常渇水時 … 10年に1回程度発生する規模の渇水より厳しい渇水。具体的には各ダムに確保された流水の正常な機能の維持のための水が無くなってしまう時。



木曽川水系連絡導水路事業の計画概要

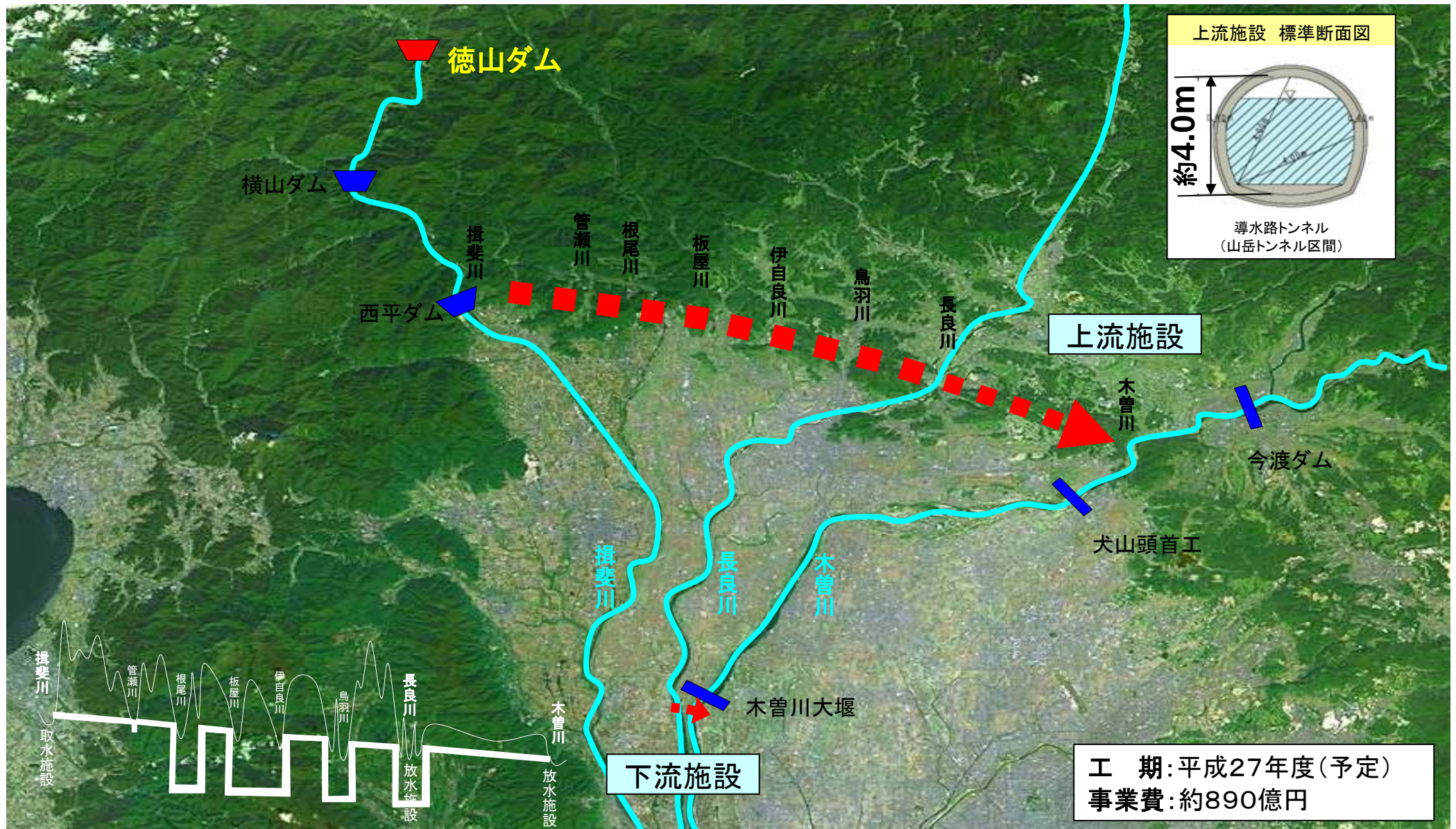
導水路のルート

導水路は、地形・地質上の制約、経済性、河川流況改善区間延長及び利水供給可能区域等から、揖斐川西平ダム付近から木曽川坂祝地区に導水することを基本とする。

また、長良川中流部の河川環境の改善及び事業費の軽減を図るため木曽川への導水の一部を長良川を経由するものとする。



木曽川水系連絡導水路のルート



渇水が頻発する木曽川

木曽川に係る用水では、平成になって以降19回の取水制限(節水)を実施している

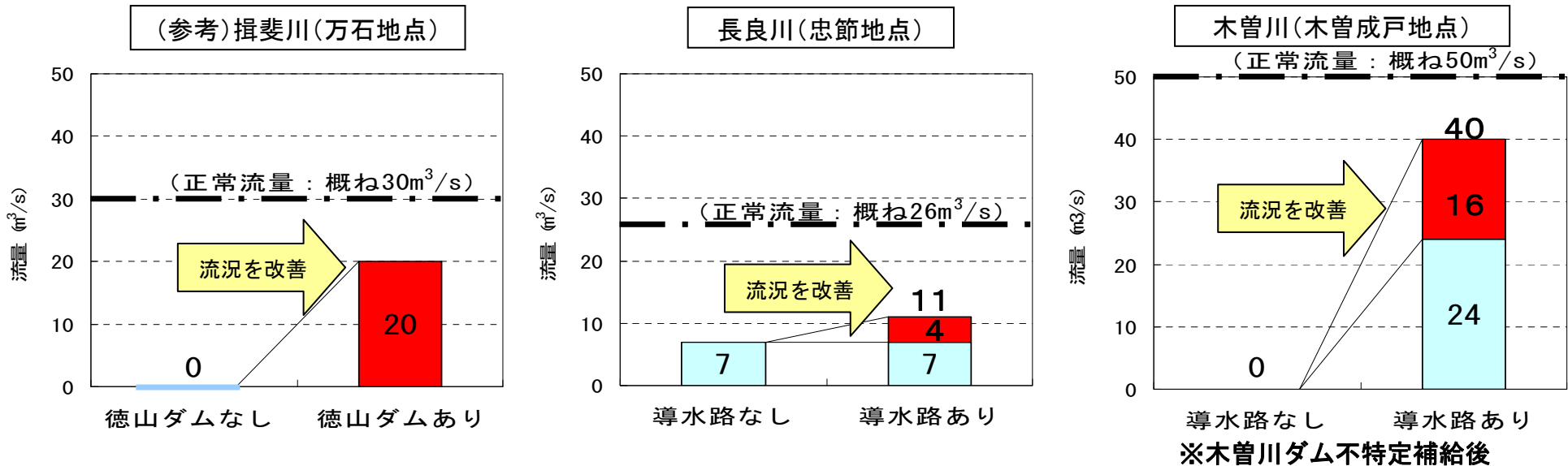
渇水 発生 年度	取水制限期間												最高取水制限率 (%)		
	期間											日数			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		上水	工水	農水
H2												32	10	20	20
H4												51	10	20	20
H5												27	15	20	20
H6												166	35	65	65
H7												213	25	50	50
H8												29	20	20	20
H9												7	5	10	10
H11												9	5	10	10
H12												78	25	50	65
H13												143	20	40	40
H14												75	20	40	40
H16												33	15	30	30
H17												176	25	45	50

：実際の取水制限実施期間

河川環境の改善効果(異常渇水時)

【異常渇水時における流況の改善状況】

※平成6年規模の渇水を対象にシミュレーション



1. 瀬切れの防止

渇水対策容量に確保された緊急水を木曽川に16m³/s(その内、4m³/sは長良川経由)導水することにより、平成6年に木曽川で発生したような瀬切れを防止する。

2. 渇水による動植物の生息・生育環境への影響の改善

(1) アユ等

木曽川に導水することにより、中流部のアユ等の産卵場で必要と考えられる流量を確保する。

(2) ヤマトシジミ

平成6年に木曽川で発生したようなヤマトシジミの斃死等の現象が改善される。

3. 渇水による河川の水質悪化の改善

平成6年に木曽川及び長良川で発生したような水質悪化を改善する。

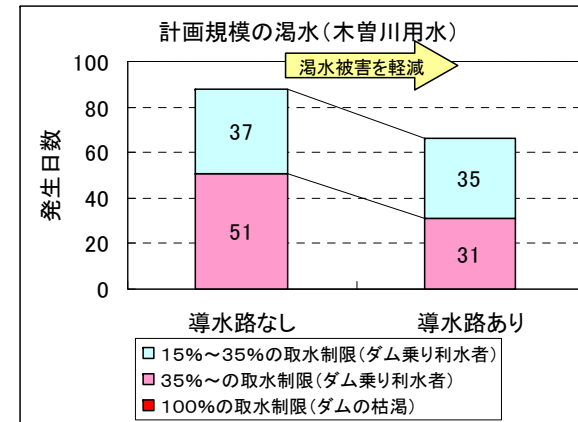
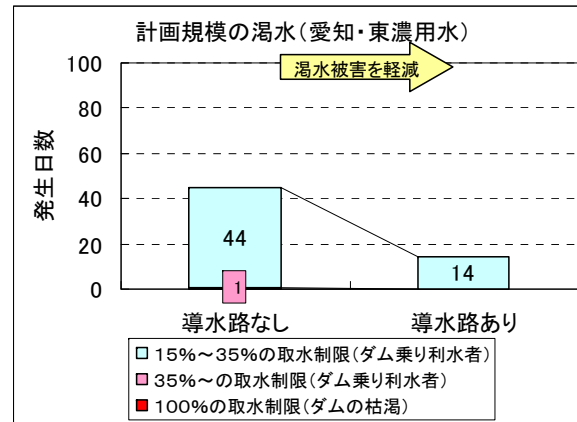
渇水被害(都市用水)の軽減効果

【渇水時における被害の軽減効果】

※昭和62年及び平成6年規模の渇水を対象にシミュレーション

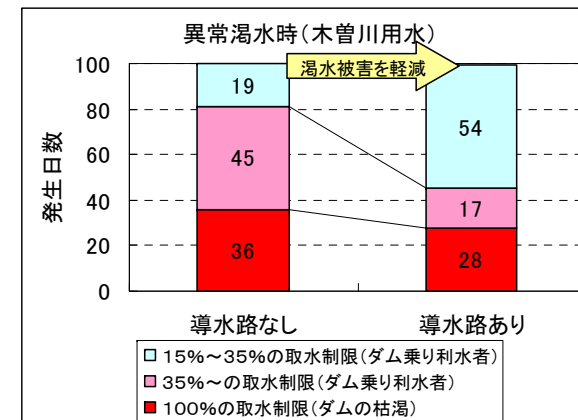
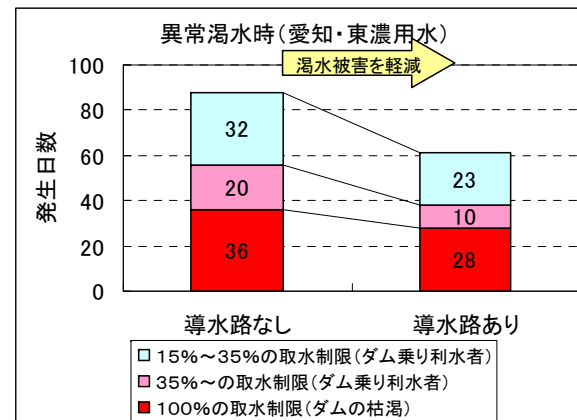
(1) 計画規模の渇水(近年の20年に2番目の渇水年(昭和62年))の場合

- 例えば木曽川用水に係る水道用水において断水を生じるおそれがある35%以上の取水制限が51日間から31日間へと軽減される。

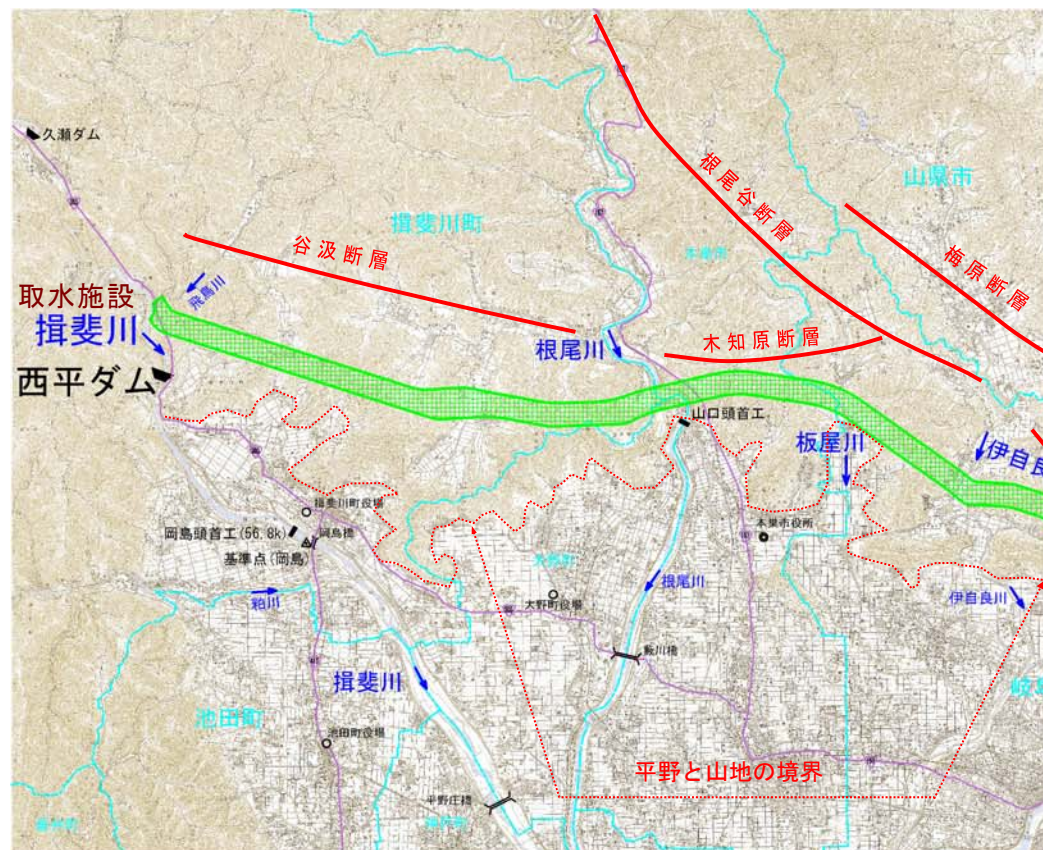


(2) 異常渇水(近年で最大の渇水年(平成6年))の場合

- 木曽川上流ダム群の枯渇日数が36日間から28日間へと軽減されるとともに、例えば木曽川用水に係る水道用水において断水を生じるおそれがある35%以上の取水制限日数及びダムの枯渇日数の合計が81日間から45日間へと短縮される。

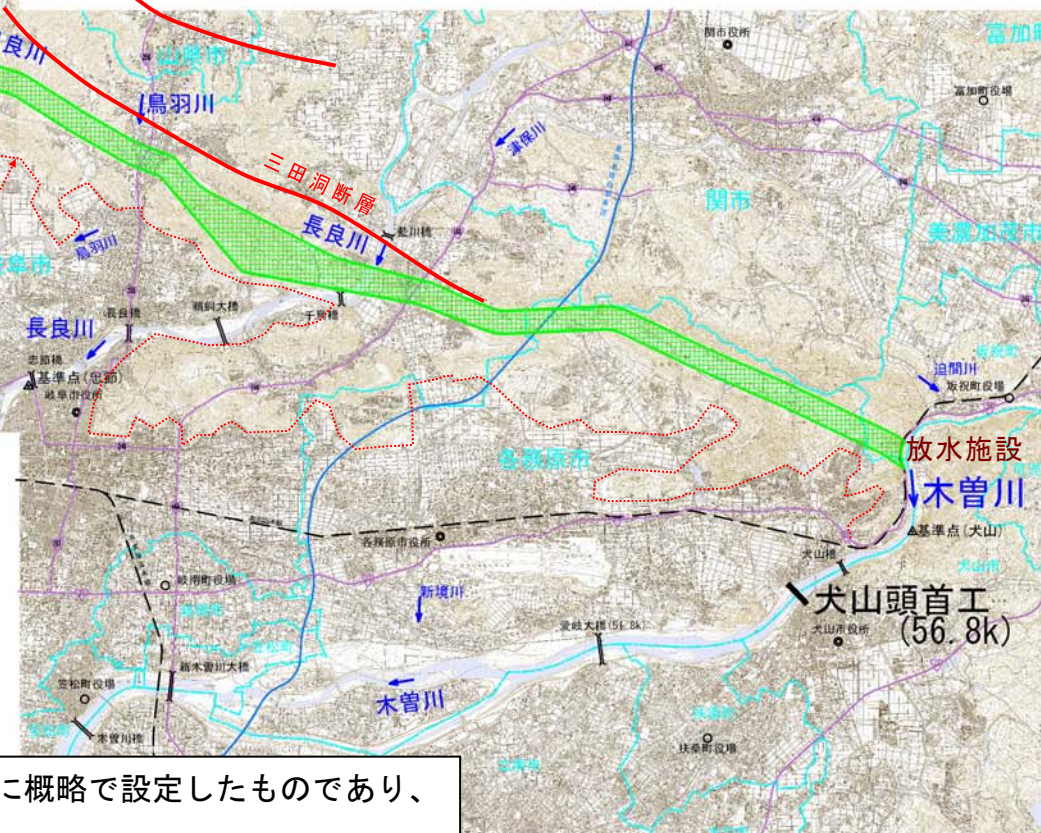


連絡導水路(上流施設)検討区域の考え方



- 連絡導水路(上流施設)検討区域の考え方
- ① 揖斐川の取水施設は、西平ダム上流
 - ② 木曽川の放水施設は、犬山頭首工の上流
 - ③ 断層との交差は避ける
 - ④ 市街地への影響を少なくするため、平野を避けて山地部とする

凡 例	
連絡導水路(上流施設)検討区域	
第4紀断層(活断層)	



※連絡導水路(上流施設)検討区域は、これまでの調査・検討をもとに概略で設定したものであり、今後の調査・検討により変わることがあります。

連絡導水路(下流施設)検討区域



木曽川水系連絡導水路事業における環境調査・影響検討の方針等

（方針）

木曽川水系連絡導水路事業を進めるにあたっては、地元から提出された意見も踏まえ、環境影響評価法に基づく環境影響評価と同等の技術レベル*の環境影響検討を行って参ります。

（体制等）

木曽川水系連絡導水路に関する環境調査は、環境検討会（H18.3 設立）における審議を踏まえて実施しているところではありますが、今後の環境影響検討に関しても、引き続き本検討会で審議をいただきながら実施して参りたいと思います。

なお、本検討会は公開で実施し、その検討結果等については原則として公表いたします。

（意見の聴取等）

環境影響検討の結果については、「環境レポート（仮称）」（案）をまとめ、関係する地域の方々や関係県知事からこれに対する意見を聴くこととし、提出された意見についての事業者の見解を合わせて「環境レポート（仮称）」を公表することとします。

なお、検討項目及び方法について、中間報告という形で公表することとします。

*「法に基づく環境影響評価と同等の技術レベル」とは

「ダム事業に係る環境影響評価の項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成十年六月十二日厚生省・農林水産省・通商産業省・建設省令第一号）の第六条（環境影響評価の項目の選定）に記載されている、対象ダム事業に伴う影響を受けるおそれがあるとされる環境要素と同等の項目について影響評価を実施する。

木曽川水系連絡導水路環境検討会

連絡導水路に関する環境調査は、環境検討会における審議を踏まえて実施中であり、今後の環境影響検討に関しても、引き続き本検討会で審議していただきながら実施する。

◆設立目的

検討会は、木曽川水系連絡導水路事業の実施に際し、関係地域における水環境や生物生息生育環境等に係わる現況の把握、影響と予測の評価について審議し、事業の適切な実施に資することを目的とします

◆環境検討会委員名簿

(五十音順(座長を除く)・敬称略)

氏名		所属	専門分野
座 長	藤田 裕一郎	岐阜大学 流域圏科学研究センター 教授	河川
委 員	小笠原 昭夫	名古屋学芸大学 短期大学部 非常勤講師	鳥類
	梶浦 敬一	ぎふ哺乳動物研究会	哺乳類、 爬虫類・両生類
	駒田 格知	名古屋女子大学 家政学部 教授	魚類、底生動物
	西條 好迪	岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授	植物
	佐藤 健	岐阜大学 工学部 教授	地質・地下水
	関口 秀夫 ^{※1}	三重大学 生物資源学研究科 招へい教授	底生動物
	野平 照雄	自然学総合研究所 研究員	陸上昆虫類
	松尾 直規	中部大学 工学部 教授	水質

※1. 第3回検討会からの委員

木曽川水系連絡導水路環境検討会

◆開催状況

回数	開催日	主な議事内容
第1回	H18. 3. 6	事業方針の説明、環境検討の項目選定及び調査地域(上流施設)の設定。 【主な指導・助言の内容】 ・放水箇所の混合状況を確認すべき。 ・魚類等の迷入による交雑が懸念される。
第2回	H19. 3. 9	文献、秋季調査結果及び環境影響検討の概要。 【主な指導・助言の内容】 ・工事中の大気環境、周辺騒音等についても検討すべき。 ・放水箇所の混合状況を確認すべき。 ・事業進捗段階に応じた地下水流動系について3次元的な解析を行なうべき。 ・生息が確認されている希少猛禽類の行動圏を把握すべき。
第3回	H19. 12. 13	調査結果、環境影響検討の概要、調査地域(下流施設)設定。 【主な指導・助言の内容】 ・地下水のシミュレーションでは、ボーリングの地点数を増やして精度を上げるべき ・水質の調査計画は、渇水期に近い状況を想定して実施すること。 ・揖斐川、長良川から外来種が迷入するのではないかな。
第4回	H20. 4. 24	調査の結果報告、今後の計画検討。 【主な指導・助言の内容】 ・予測・評価地域は全体を見据えた中で更に、改変する地域を集中的に実施すること。 ・水質シミュレーションの妥当性確認のため、実績値の再現性について確認すること。 ・地下水シミュレーションは、近傍の地下水データを収集、補完することが必要。 ・鳥類はサシバ、夜鳥の確認もすること。 ・渇水時の下流水質データは、下げ潮だけでなく上げ潮も実施すること。

木曽三川ふれあいセミナーで 頂いたご意見の一覧

平成２０年６月２９日
国土交通省中部地方整備局

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
会場での発言	岐阜会場	木曽川の雄大な昔の原点とこれから将来に残していかなくてはいけない自然について本当の意見が交わされているのか。
会場での発言	岐阜会場	愛知県側は非常に規制を厳しくして地下水の利用をしてきたが、岐阜県は全くしていない。そういうことがあって地下の変動があり、地盤沈下するのは当たり前である。そういう実情の正しい見方をされていくとよいと思う。
会場での発言	岐阜会場	揖斐川では、今年の春、小さい魚の約40%には全部カビが生えていて、カビをつけて上流へ上がっていったらいつか死滅する。こういう状態が今年は続いている。こういう実情を知った上で、どうしたらいいかということをやっていただきたい。
会場での発言	岐阜会場	今年の揖斐川の水温は非常に低い。今度取水して長良川や木曽川に持っていこうとする水は地下を通ってくるから非常に冷たい。また、木曽の山と徳山の上流の山の岩盤は全く違うから水のpHも違う。本当のことだけを知った上で、いい意見を出していただきたい。
会場での発言	岐阜会場	導水路計画の縦断図面を見ると何十mの凹凸があり、勾配が1/1,000でパイプの中が4mの直径の管だったら絶対に下にすぐ1/3ぐらいは砂が詰まるが、ランニングコストはどうするのか。もっと真剣に将来のツケに関してどうしたらいいかを考えてほしい。
会場での発言	岐阜会場	私は、環境保護に長年携わってきた。国の税金の使い方の方向付けをしっかりとしてほしい。
会場での発言	岐阜会場	水が引いた後、ゴミの山になっているところには大きな木がいっぱい生えていて、これを全部一掃してほしい。少なくとも昭和55年程度の河川に直してほしい。
会場での発言	岐阜会場	護岸工事の中でつくられた遊水地あるいはビオトープ的なものが、今現在、ブルーギル等が繁殖している繁殖池になっている。馬飼頭首工の水がたまったところや河口堰の前の水がよどんだところにいる。昔のとおりにしたら、ブルーギルも棲めない。
会場での発言	岐阜会場	徳山ダムができるときの利水計画とそれ以後に変更された利水計画ではどのように変わっているのか。長良川・木曽川への導水路を計画された時点の前と後では、利水計画がどのように変わっているのか。名古屋市・愛知県の利水計画の変更等について時系列で話をしてもらいたい。資料をいただきたい。
会場での発言	岐阜会場	木曽川水系連絡導水路環境検討会が第4回より公開で実施されているが、その前の分の要旨ではなく議事録を公開して欲しい。
会場での発言	岐阜会場	17ページの遊水地等の整備というところで、美濃市、関市、岐阜市にかかわる広範囲に遊水地の整備を行うという書き方だけですから、もう少し具体的に説明してほしい。
会場での発言	岐阜会場	22ページの危機管理対策の中に防災ステーション等の整備とあり、木曽川は羽島市、揖斐川は大垣市ですが、長良川にはない。もう少し岐阜市と国交省の間で長良川に対する防災拠点を考えて欲しい。また、木曽川上流河川事務所が防災拠点となっているが、具体的に説明してほしい。
会場での発言	岐阜会場	外来種の対策について方向性は理解したが、長良川の堤防が黄色になっているので、すぐに草刈りをしてほしい。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
会場での発言	岐阜会場	ふれあいセミナーについて、もう少し時間をとって皆さんの意見を吸い上げることができるように設定してほしい。
会場での発言	岐阜会場	私は導水路事業に賛成だが、国交省がやろうとしている考え方とは異なる。国の考えの中で環境というテーマが出ていて、生物が育成でき、繁殖し、そこで生息できる環境をつくるというのが基本だと思う。今度の導水路事業でこのところを考えてほしい。
会場での発言	岐阜会場	長良川の右岸側は山から水が入り、左岸側は5 m ³ /sの水を長良川から給水して各務用水が入っていて、境川・荒田川・新荒田川がとてもいい水環境になっているが、10月になると1滴の水もなくなり、そこにいる生物がすべて死滅する。人間だけでなく、地球上にいる生き物すべてにお金を少し使ってみんなが活用できるような導水事業というか河川事業にしてほしい。こういういい機会に、導水事業としてもう少し広い範囲で水を活用する、水を生かすということを考えてほしい。
会場での発言	岐阜会場	遊水地をつくるという計画があるが、農業用水はもってこいの遊水地である。農業用水をいかに活用するか。農業用水が1つの遊水地になるのではないかな。
会場での発言	岐阜会場	地球温暖化の関係で総量規制がかかって企業は良質な水を望んでいて、地下水の活用が増えるのではないかな。工場は水を何度も使うようになり、今まで以上に水を必要としなくなるのではないかな。
会場での発言	岐阜会場	昆虫等の生態系が大きく変わってくるということは決していいことではなく、河畔林は少し残してたくさん切るとするのが大事だと思う。事業をやれば生物はいなくなるが、10年から20年後にはまた帰ってくる。そのとき、生物が生息できる環境を考えながら事業をしてほしい。
会場での発言	岐阜会場	遊水地事業について、構想を持って初めて公表されるのが本来の形ではないかな。
会場での発言	岐阜会場	木曽川の堤防を走っていて、意外と世話をせずきれいな花が咲くものだと思う。一概に外来種はみんながみんな悪いということとは言えないと思う。殺風景なところに黄色のきれいな花が咲けばすばらしいし、枯れてから刈るとかで余計なお金を使わなくても済むと思う。外来種もそこに住んで時間がたてば日本の木や花になるということもあると思うし、別な考え方もできてそういうことも反映させて整備をお願いしたい。
会場での発言	岐阜会場	整備計画にしてもいろいろな説明会をするという意図の中でも、住民の意見があまり入っていない。もっと根本的に住民の意見をもっとたくさん入れるシステムをとらないといけない。 淀川の流域委員会のように、流域委員会のメンバーの中に住民を公募で入れて、住民の意見を入れるようなシステムが必要だったのではないかな。 今後は、もう少し住民の意見を入れるということをやってもらいたい。
会場での発言	岐阜会場	新丸山ダムの嵩上げによる成戸地点で40 m ³ /sの水の確保と、導水路による成戸地点で40 m ³ /sの水の確保の関連性を教えてほしい。
会場での発言	岐阜会場	伐開する木は国交省が植樹したものなのか。植樹したものでないのなら、全部伐採しないで流水の機能を維持する程度に伐採して保全した方がよいのではないかな。環境保全のために環境をどこまで戻すのか、どこまでやるのかという話になるとなかなか難しい。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
会場での発言	岐阜会場	特定外来種については、その種が入るとそれだけになってしまうから駆除するという前提があり、特定外来種はもっと積極的に駆除していくべきではないか。
ご意見用紙	岐阜会場	杭瀬川最上部旧塩田橋附近の狭窄部改修と親水公園等検討してほしいと思います。徳山ダム設置に伴い安全度が増してまいりました。又、今後とも継続して整備をお願い致します。今後ともご指導を頂きより良い環境景観を夢見ておりますのでよろしく。
ご意見用紙	岐阜会場	知識の多い方の意見を伺うことが出来て大変勉強になりました。今後とも、積極的に参加してゆきたいと思います。
ご意見用紙	岐阜会場	出席者は年輩者の方が多いようですが、20代、30代の方に対しての事業の説明はどうされるのか。
ご意見用紙	岐阜会場	自然との共生できる工事をすすめて欲しい。そのためには長いスパンの事業計画が大切である。特に、川で遊び、川を愛する住民の育成を期待したい。
ご意見用紙	岐阜会場	個人的主張が多く、客観的な話し合いになっていないので、聞く内容が少ない。
ご意見用紙	岐阜会場	人の生命最優先の河川法から順次、利水・環境保全へと川づくりの任務は大きく変わってきているが平成9年の改正の環境保全についてはまだまだ軽視されている様に思う。3つとも同じレベルでの対応をお願いしたい。
ご意見用紙	岐阜会場	環境保全は豊かな川づくりの基本中の基本だと思います。それには住民をまき込んだ川への意識改革をするような活動・拠点が必要。子供達・住民が川に目を向けれる水辺環境づくりを強化してほしい。
ご意見用紙	岐阜会場	時間がたりない。
ご意見用紙	岐阜会場	将来の子供達のために、連絡導水路による長良川への導水は必要と思う。地球温暖化で気温・水温の上昇、渇水の深刻化が考えられる。この対策として、連絡導水路による長良川への導水が不可欠かつ、有効と思います。
ご意見用紙	岐阜会場	発言者の時間制限が必要と思います。より多くの人の意見を聞くべきと思います。
ご意見用紙	岐阜会場	導水路の建設については、賛成であります。天候の変動による渇水の予測は出来難い。太陽系の影響ともCO2の影響とも言われている温暖化は早急に解決出来るとは思わない。
ご意見用紙	岐阜会場	平成20年度の伐開計画 治水対策上（200年に1回の洪水）必要と判断される場所の伐開は実施すべきである。
ご意見用紙	岐阜会場	意見交換のやり方：一人の発言時間は制限すべきでしょう。多くの人の意見を聞くため。
ご意見用紙	岐阜会場	時間が足りません。開始時刻を早めること。
ご意見用紙	岐阜会場	木曽川連絡導水路のルートで東海環状自動車のルートがクロスしますが、その高さや近隣など問題はないでしょうか。 （掘削の影響など） →東海環状のルート変更による影響はないでしょうか。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
ご意見用紙	岐阜会場	時間が少なすぎる。
ご意見用紙	岐阜会場	伐開については現況、環境機能の把握が必要。現況の障害の程度の定量化も必要。流水障害と痕跡との対応等。エノキ等は保全していく必要もあると思われる。
ご意見用紙	岐阜会場	１人の方の持ち時間を決めてほしい。１廻りしてからもう１度。
ご意見用紙	岐阜会場	水の流出についての問題ですが、 ・山地の樹木の管理に大変問題が有るとされます。 ・第１次産業（林業等）の作業員が減少し、第２次・第３次産業が反転しすぎで ・第１次産業を少なくなると日本の国がダメになると思われる。 ・林業にも若い者が魅力ある様をお願いしたい。 ・基本的に見直すべきだ。 ・岐阜市のモットーである“スローライフ”を重視すべきだ。
ご意見用紙	岐阜会場	徳山ダムからの導水路計画について必要なのは、愛知県であり、長良川には自然環境から考えても不必要であり計画を廃止していただきたい。
ご意見用紙	岐阜会場	自由な意見の場は大切であり、もう少し時間を取っていただきたいと思います。
ご意見用紙	岐阜会場	事前のお知らせ、公報をもっと多くしていただきたい。
ご意見用紙	岐阜会場	樹木の伐開は賛成だが、そこに植樹をしたのは国なのですか。自然に育ったとは思えませんが。明確な過去のデータほしいです。
ご意見用紙	岐阜会場	導水路についてはやっぱり反対。今すぐストップすべき。住民投票にしてほしい。
ご意見用紙	岐阜会場	やはり時間が短いのかな。
ご意見用紙	岐阜会場	事前に意見ある人は文章ださせて、すべて回答をのせたものを当日までにある程度配布すべきでは！
ご意見用紙	岐阜会場	「正常流量を保つ」目的で他の水系の川を混ぜることがよいのかギモンです。少雨傾向の中でも、山の保全能力を高める努力がどこまでされたのかが分からない。ある学者は「河川は山から海までの一連の流れがあってこそ、河川としての機能がある」と言っています。
ご意見用紙	岐阜会場	時間は最低２時間は必要だと思う。
ご意見用紙	岐阜会場	こういう懇談会を各地域コミセンなどでも開いてほしい。
ご意見用紙	岐阜会場	導水路計画に関して、渇水対策についても、コスト面を考えて導水路によらない代替手段がないのかどうか検討すべきである。膨大な事業費を要するものだけに、真に緊急性のある事業なのかどうか三県一市で改めて議論をしなければならない。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
ご意見用紙	岐阜会場	導水路計画、長良川遊水地など大きなテーマを多数抱えている現状からすれば、国交省は総括的な「ふれあいセミナー」ではなく、個別のテーマに関する意見交換会、説明会を開催すべきである。
ご意見用紙	岐阜会場	樹木伐開に参加したいと思います。
会場での発言	一宮会場	南派川が6月から9月の時期に水が全く流れていない。原因として本川との河床の差が通常でも1.5m位あり、流量が北の方に流れて南の方へほとんど流れない。真ん中部分ぐらいだけでも河床を下げて流量を確保してほしい。
会場での発言	一宮会場	どうして木曽川の水はこんなに少ないのか。原因として、木曽川の水は愛知県側の農業用水、工業用水、都市用水に取られてしまう。岐阜県側についてはわずかに羽島用水があるだけで、これらの取水が原因と考えるのがいいか。
会場での発言	一宮会場	河畔林について、伐採してほしいという意見もあれば、残してほしいという意見もある。樹木伐採に関して木曽三川の大きな方針を決めて、個別箇所の計画を立てて実施してほしい。30年計画の中で第1位優先順位をつけて、伐採について今後どのような予定なのか教えてほしい。次回COP10で生物多様性の観点でも木曽川が良い事例となるようにしてもらいたい。
会場での発言	一宮会場	川は流域全体を含めて川であり、大臣管理区間など一部だけの話をすると川として大切なことが抜けてしまう。川全体の管理者は誰なのか。
会場での発言	一宮会場	平成9年の河川法改正によって環境の観点が加わったので、動植物の目線をもう少し色濃く出してほしい。
会場での発言	一宮会場	外来生物について、こんな生物がいるということだけでなく、もっと積極的に手を打ってもらいたい。
会場での発言	一宮会場	ユスリカについていろいろ検討して対策を打っているようだが、なかなか効果が期待できないようだ。外来種についていろいろ検討される中で、ユスリカも項目に取り上げて息の長い対策をしてほしい。
会場での発言	一宮会場	今渡から土田にかけて堤防を散歩しているがトイレがない。長良川のようにトイレを設置してもいいのか。
会場での発言	一宮会場	太田橋の下流には歴史に名高い石畳の歩道があるが途中で切れていて、遊歩道を有効に利用するなら太田橋の下をくぐって観光道路につなぐような形のものをつくってもらいたい。
会場での発言	一宮会場	新太田橋から太田橋の間で部分的に護岸工事をやってもらったが、無味乾燥な工事だった。環境保全や景観とかを考えると、これからもあのような部分にはあのような工法をされるのか教えてほしい。
会場での発言	一宮会場	河川敷に何かをつくりたいとき、どのような手続きをすれば可能なのか、手続方法を教えてほしい。
会場での発言	一宮会場	導水路のルート付近に断層が通っているが、地震が起きた場合にどのような措置をとられるのか。
会場での発言	一宮会場	ダムについて、地震が起きた場合にどのような措置をとられるのか。
会場での発言	一宮会場	川の中にも治水施設として歴史と文化施設がある。最近、揖斐川で石積の水制を撤去したと聞いたが、撤去にあたって地元の方に何か説明とか、事前調査とか、何か実物を置いておくとか、そのようなことを考えていたのか。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
会場での発言	一宮会場	化石林公園についてどう考えているのか。化石林はやがては水の影響で壊れていくと思うが、対策や保護についてどう考えているのか。
ご意見用紙	一宮会場	出来るだけ上流に連絡導水路の出水口をもって行っていただきたい。坂祝を今渡に近づけたい。（丸山ダムの放水量増も期待したい）
ご意見用紙	一宮会場	水辺のプラザのネットワーク作りはこれからの地域活動にとって大変ありがたいことだと思います。柔軟なお考えで嬉しく思います。（NGはNGとしてはっきり云って頂き、OKの所はどんどん進められるようお願い致します。
ご意見用紙	一宮会場	オオキンケイギクは河川だけの問題ではなく、一般の野原・田畑に対して広がっており、本当に共生できない植物なのか文化の問題として駆除しなければならないものなのか。
ご意見用紙	一宮会場	木曽川26k～40k付近でのキノガワフユスリカ発生被害（直接の迷惑度に着目）は、近年その勢いを倍化させる傾向に在ります。若しこれが、往時に存在せず近年著しくその数を増やして来ていると言う観点から“外来種”と見るべきだとすれば、この現状を決して放置されるべきでないと思料します。対策の一つとして、“緩流域”の臨機流水増を図る（木曽川大堰のゲート開放等）と併行しての沿岸部の清掃（ヘドロ除去が主体）徹底が必須です。その際、往時における河床の状況を充分参考して頂きたいのです。
ご意見用紙	一宮会場	要点筆記に便利な設営は考えられないでしょうか。膝の上に開いた用紙への記入は、メガネの機能上余り旨くありません。
ご意見用紙	一宮会場	制約が多いことは理解出来ますが、開会前或いは閉会后での資料説明担当者の配置が望ましいと思います。
ご意見用紙	一宮会場	新丸山ダム建設に関連して、木曽川左岸66.4km付近には堤防がなくやや低い箇所（ホテルグランドヴィラ付近）がありますが、新丸山ダム建設後にはS58洪水に対応できますか。すぐ上流までは堤防の築堤や嵩上げがなされていますが、この部分が低いと洪水が廻り込んで、可児市土田下田地区が浸水する恐れがあるため、場合によってはホテル敷地の買収・築堤を早急に検討していただきたい。
ご意見用紙	一宮会場	可児市今渡・土田地区の化石林の保護を検討していただきたい。なにもしないと流れてしまう。
ご意見用紙	一宮会場	木曽川本線に対しては、利水・環境の面から考える事はあたりまえの事ですが、枝線とか小さな川にまで同じ考えであるべきだと思います。国、県、市町村の管理のちがいはわかっていますが、外来種等の面から考えると、管理者を統一した方が良いと思います。
ご意見用紙	一宮会場	国交省だけではなく県関係者（岐阜県・愛知県）もまちえると良いと思います。
ご意見用紙	一宮会場	木曽川大堰が無い時は水流が多くスムーズに流れてたのが大堰が出来上がってから、ユスリカ多発生になってる。対策を取って下さい。
ご意見用紙	一宮会場	利水は、利用する時は必要量を利用しているが、洪水時も本流と同じ平行水量になっているか。
ご意見用紙	一宮会場	洪水時は利水用門を閉じ本流にすべての負荷をかけているのではないのでしょうか。

木曾三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
ご意見用紙	一宮会場	利水と治水の関係の整合性を調整する機関はありますか。
ご意見用紙	一宮会場	時間が少ないから、せめて2時間はほしい。
ご意見用紙	一宮会場	住んでいる町以外の活動や事例はなかなか知ることができないので、その発信をしてもらおうと事業の取り組みがよくわかると思います。私は羽島市の人間ですが、起地区の整備はどのような主旨でおこなわれているかわからなかった。が、今回知ることができました。身近な整備が誰でもわかるような説明・発信をおこなう機会や資料（看板とか新聞とか）を作っていただきたいと思います。
ご意見用紙	一宮会場	濃尾大橋右岸側の樹木は背が高くなっているが、ばっかいの基準などはあるのでしょうか。このまま伸びほうだいでもOKなのでしょうか。
ご意見用紙	一宮会場	河川にふれる場が増えるとよいと思います。生物多様性枠組み会議では里山が大きく取り上げられるようですが、河川についても人が入って自然と共に生活してきたと思います。何か合言葉をつけて、（里川？）またこれから人が入って活動できる場があるとよいと思います。安全面・規制面でむずかしい所はたくさんあると思いますが。
ご意見用紙	一宮会場	継続して実施してってください。とてもよい会だだと思います。行政の知らせる努力と住民の知る努力を確かめられる場だと思います。
ご意見用紙	一宮会場	配布資料A4資料は、めくりやすい両面印刷（横めくりではなく、縦めくり）としたほうが見やすいと思います。
ご意見用紙	一宮会場	ユスリカ対策ですが、自治体で良くイベントとして行われている“コイの幼魚”の放流はまったく効果がありません。答弁にありましたサナギをすくう事が効果的と思いますが、根本対策は水を流す事です。平成13年の東海豪雨のときにはユスリカはあまり発生しませんでした。よどんだ渇水が発生の原因だと思います。特に、サナギ時の放流が効果的と思いますが如何でしょうか。
ご意見用紙	一宮会場	魚類の迷入交雑が懸念されるという意見が連絡導水路の委員会に出ていますが、明治改修までは三川がすべてつながっているわけであり、今さら交雑の議論をすべきなのか。
会場での発言	桑名会場	（アウトラインP.22 内水対策より）高須排水機場という立派な施設があるのに運転期間が短い。運転水位の見直しと大江川の改修をして欲しい。
会場での発言	桑名会場	長島は、ゼロメートル地帯・輪中地帯であるため1ヶ所でも堤防が切れれば浸水してしまう。堤防整備が地元の一番の要望であり、橋梁部も含めて1年でも早く完成させて欲しい。長島海岸はH20より、県海岸工事を10カ年で行う。県の事業だが、出来るだけ早く完成するように国も力添えをして欲しい。
会場での発言	桑名会場	連絡導水路施設の防災面（地震）に対する検討は？
会場での発言	桑名会場	少ない人数だがいろいろ活動している。（水質調査、千本松原を愛する会）このような機会を活かして川への関心を高めてもらう取り組みをして欲しい。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
会場での発言	桑名会場	この地域は、海、川、山という景観が揃ったすばらしい地域だと思う。学校教育等で身近なところから、身近な事を伝えていって欲しいと思っているし、応援している。
ご意見用紙	桑名会場	木曽川・長良川の中堤の工事時は、現在の自然を出来る限り保全して欲しい。
ご意見用紙	桑名会場	連絡導水路環境検討会（現在）に市町の首長を入れるべき。
ご意見用紙	桑名会場	連絡導水路計画は、徳山ダム基本計画（当初）に計画されていたのか？
ご意見用紙	桑名会場	事業実施時にも是非住民とのコミュニケーションを持って下さい。整備計画で位置づけたからなんでも出来る、というスタンスの取り組みとならないことを願う。
ご意見用紙	桑名会場	長良川右岸堤、木曽三川公園付近長良川大橋の交通渋滞をもっと考えて欲しい。
ご意見用紙	桑名会場	中国四川大地震において、ダム湖の決壊による被害の増大が懸念されています。長良川河口堰で満水になっている長良川の水が長島町に流れ込まないように堤防の耐震性を強化してもらいたい。
ご意見用紙	桑名会場	河川パトロールの強化、ゴミ捨て対策や河川敷に不法に住む人の退去など。
ご意見用紙	桑名会場	セミナー大変参考になりました。私たち住民はこういったセミナーを色々な機会に受けさせていただき、施策をよく理解していきたいと思います。
ご意見用紙	桑名会場	木曽三川河口近くにはたくさんのヨシが繁っております。河川の清掃をすると、ヨシ原の中にゴミなどがいっぱいひっかかっており、手の付けようがありません。滋賀県の琵琶湖では、ヨシが水の浄化に役立つということで毎年刈り取って大切に守られております。 木曽三川河口地域でも昔はヨシズ等を作るため、きれいに刈り取られていました。刈り取ることをしないとゴミがたまったり、二酸化炭素発生で水の浄化にはならないと思います。なんとか毎年ボランティア活動でも働きかけ、ヨシを刈ることが出来ないかと思います。
ご意見用紙	桑名会場	河川敷を活用し、一般市民の「川に関する関心」を高めるような方策（ex. 花畑（ひまわり、菜の花）など）の住民参加の活動により、幅広く啓発を行えたらいいですね。
ご意見用紙	桑名会場	アウトラインP22の２に「輪中堤の機能維持・・・」と書いてあるが、現在は「輪中堤の機能維持」を考えるのではなく、「現在の水防組織のあり方」を考える必要があると思います。
ご意見用紙	桑名会場	発言をさせていただきましたが、長島地区高潮防波堤については１年も早く完成をさせていただきたい。
ご意見用紙	桑名会場	長島海岸高潮堤防補強及び耐震対策工事は県の工事ではありますが、今年度から１０年の計画と聞いています。今年度２億円の予算で総額４０億円と聞いています。１０年間でも厳しいと思いますが、国交省からも援助をお願いしたいと思っています。早い時期の完成を希望しています。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
ご意見用紙	桑名会場	木曽三川フォーラム木曽川部会所属、名古屋市中川区在住石黒です。この地区同様河口部で生まれ育ち、未だに川ガキが止らず今は山・川・里・海のつながりで、自然環境保全活動に取り組んでいます。とりわけ、河口部の干拓地や干潟に関わる生物多様性と、松並木を守ることに力を入れてます。すでに皆さんご存じの事ですが、大河三川が近接する地域中心に数km圏には多度・養老の山並み、足元には三つの大河その流れ行く先は豊かな漁場と生産を支える海があり、風光明媚な国定公園です。１時間程でこられる地域の住民は四百万人ともいわれ、四季を通して多くの人々が訪れ、心を癒され、人の和づくりや各種スポーツもいろいろ行われ、時には食用とする魚介や植物を収穫されてゆきます。また、この地は治水事業で全国に知られる歴史遺産もたくさん残されてます。これほど恵まれた場所は他に見当たりません。
ご意見用紙	桑名会場	しかし、今一度ここのシンボリック存在の松並木を観ると、密植状態であつたり、寿命が近づいているのと、周囲環境悪化により、年々弱っている並木を守るべく、実生から育てた苗木を世代木として植樹し、手を掛けられているのが松並木を愛する会の皆さんです。老骨にむち打って国定公園内であり、重い歴史が有るが故に並木を守らねばと、一種使命感をもって活動されています。こうした活動には、市民と行政共々に立場上出来ることと出来ないことがあります。お互いがそのことを十分理解し合って、知恵と汗の出どころと心得たいものです。
ご意見用紙	桑名会場	この度３０年の整備計画が策定されたが、私は河川行政の一部には５０年、１００年のスパンで取り組むべきものもあると思います。
ご意見用紙	桑名会場	そこで私の要望ですが、現状長良川左岸の治水神社で止っている松並木を、立田で木曽川右岸へ移り、日原の渡し跡に現存する並木に繋げたい。現状苗木は十分有り、一部は過密に植ってる場所があります。愛する会の人達が活動しやすい周辺環境を作っていただき、川と自然環境を守る思想が末永く伝えられるよう願います。
ご意見用紙	桑名会場	厳しい財政の中とは理解してますが、心底からの親水と自然環境保全が実感できる事業であってほしい、この事が万一にも切捨て、または忘却されることの無いよう、よろしくお願いいたします。
ご意見用紙	桑名会場	今回のようなセミナーを開催して欲しい。
ご意見用紙	桑名会場	質疑のための時間が少ない。
ご意見用紙	桑名会場	フリートークのための時間を増やして欲しい。
ご意見用紙	桑名会場	会を始める時間をもう少し早くしていただき、２～２．５時間くらいはやっていただくと、充実した内容になると思います。
ご意見用紙	桑名会場	時間厳守をして下さい。
ご意見用紙	桑名会場	ある流域委員会では、流域委員会の意見をとるか行政の計画に準じるか、どちらの意見を重要にするかとの意見があるようですが、このセミナーの位置付けを明確にしていきたい。
ご意見用紙	桑名会場	「川づくりパートナー」のグループ間や、メンバー間でコミュニケーションが出来る場またはネットがあるといいと思います。

木曽三川ふれあいセミナーで頂いたご意見の一覧

ご意見を頂いた方法	開催場所	頂いたご意見
ご意見用紙	桑名会場	意見交換の時間が少ない。
ご意見用紙	桑名会場	司会の方は大学の先生みたいですが、どんな経緯で司会をされているのでしょうか。説明が欲しいです。
ご意見用紙	桑名会場	今回は事業説明会ですか？３分の２（１時間）を延々と説明を受けて、意見を言うのが３分の１（３０分）。意見交換の時間が少ないということに対しては、満足していません。（質問が３人とは少ない）
ご意見用紙	桑名会場	いろいろ話を聞いて「さあ、意見は」といわれても、話しにくい。もう少し工夫して下さい。

ご意見用紙

本日は、第2回木曽三川ふれあいセミナーにご参加頂きましてありがとうございました。

木曽三川の川づくりや木曽川水系連絡導水路に関してご意見がある方は、この用紙にご記入頂き会場のご意見箱へ入れてください。

また今後も引き続き、このようなセミナーを開催したいと考えてますので、あわせてご意見いただければ幸いです。

1. 今回の木曽三川ふれあいセミナーは、何で知りましたか。
(該当するところに○をつけてください)

- ① チラシ (どこで :) ② ホームページ
③ ポスター (どこで :) ④ 新聞記事
⑤ その他 ()

2. 木曽三川の川づくりや木曽川水系連絡導水路に関して、どのようなことでも結構ですので、自由にご意見をご記入下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. 木曽三川ふれあいセミナーの運営などについて、自由にご意見をご記入下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。